(別表第1)

# サービス評価結果表

# サービス評価項目

(評価項目の構成)

- I.その人らしい暮らしを支える
  - (1)ケアマネジメント
  - (2)日々の支援
  - (3)生活環境づくり
  - (4) 健康を維持するための支援
- Ⅱ.家族との支え合い
- Ⅲ.地域との支え合い
- IV.より良い支援を行うための運営体制

ホップ 職員みんなで自己評価! ステップ 外部評価でブラッシュアップ!! ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

> ーサービス向上への3ステップー "愛媛県地域密着型サービス評価"

【外部評価実施評価機関】※評価機関記入

	A TOOLEY HELDS DO LEES .
評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8番15号
訪問調查日	平成30年12月19日

#### 【アンケート協力数】※評価機関記入

家族アンケート	(回答数)	16名	(依頼数)	18名
地域アンケート回答数			9名	

※事業所記入

事業所番号	3890200029							
事業所名	グループホーム はとり							
(ユニット名)	2階							
記入者(管理者)								
氏 名	原 文香							
自己評価作成日	2018年 12 月 3 日							

(別表第1の2)

(VV 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1		
[事業所理念] 楽しく 健やかに 自分らしく暮らす	たが、メールでのやり取りは行って今ない。 #3介護計画を毎日職員ができたできないで判定して記入し結果を数字化して記録する。 温度版に記入欄を作り記入するようにしたが、初めの何ヶ月かは行っていたものの記録忘れが多く、数字化するのはむつかしかった。	【今回、外部評価で確認した事業所の特徴】 開設13年目を迎える事業所は、住宅街に立地し母体病院と隣接している。24時間対応の緊急医療体制が構築されており、利用者や家族にとって心強い環境である。利用者一人ひとりの好みに応じながら、シャンプーや洗濯用洗剤等を個別に管理し使用するなど、利用者本位の支援に取り組もうとする職員の意識の高さが窺える。「楽しく健やかに自分らしく暮らす」を事業所理念に掲げ、利用者が安心して平穏に暮らせるよう日々支援に努めている。

# 評価 結果表

項目 No.	評価項目	小項日	内 容	自己 判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
I .3	その人らしい暮らしを支え	<u>る</u>						
(1)	ケアマネジメント							
		а	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。	本人、家族の希望を確認し、特に利用者さんとよく話をして希望を聞いている。 〇	0		0	
		b	把握が困難な場合や不確かな場合は、「本人はどうか」 という視点で検討している。	利用者さんの表情やしぐさを観察して検討している。				
1	思いや暮らし方の希望、 意向の把握	С	職員だけでなく、本人をよく知る人(家族・親戚・友人等) とともに、「本人の思い」について話し合っている。					入居時や家族来訪時に話を聞いたり、利用者との日々の会話の中から思 いや暮らしの意向の把握に努めている。
		d	本人の暮らし方への思いを整理し、共有化するための 記録をしている。	本人の想いを共有できるよう、思い思いの絵をかいたりしているが、できていない方もある。				
		е	職員の思い込みや決めつけにより、本人の思いを見落 とさないように留意している。	本人とコミュニケーションを密にとり、日々の何気ない会話から本人の想いをくみ取るようにしてい る。				
		а	利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、こだわりや大切にしてきたこと、生活環境、これまでのサービス利用の経過等、本人や本人をよく知る人(家族・親戚・友人等)から聞いている。	X			0	
		b	利用者一人ひとりの心身の状態や有する力(わかること・できること・できそうなこと等)等の現状の把握に努めている。	アセスメントを毎月行い現状を把握している。				
2	これまでの暮らしや 現状の把握	С	本人がどのような場所や場面で安心したり、不安になったり、不安定になったりするかを把握している。	日々の暮らしの中で、個別に把握している。				利用者や家族からの聞き取りや、居宅介護支援事業所からのフェイスシートなどにより、これまでの暮らしや現状の把握に努めている。
		d	不安や不安定になっている要因が何かについて、把握 に努めている。(身体面・精神面・生活環境・職員のかか わり等)					
		е	利用者一人ひとりの一日の過ごし方や24時間の生活の流れ・リズム等、日々の変化や違いについて把握している。					
	チームで行うアセスメント	а	把握した情報をもとに、本人が何を求め必要としている のかを本人の視点で検討している。				0	
3 (ジ	(※チームとは、職員のみならず本人・家族・本人をよく知る関係者等を含む)	b	本人がより良く暮らすために必要な支援とは何かを検討 している。					把握した情報は日誌や申し送りノートで共有し、家族との連絡ノートも活用 しながら、常に利用者にとってどうかという視点で検討している。
	あい知る  財体自守を召む)	С	検討した内容に基づき、本人がより良く暮らすための課 題を明らかにしている。	共に生活しながら日々検討を重ねている。 〇				

	小項日	内 容 評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと		
	а	本人の思いや意向、暮らし方が反映された内容になって いる。	本人の想いを尊重している。						
チームでつくる本人が 4 より良く暮らすための	b	本人がより良く暮らすための課題や日々のケアのあり方について、本人、家族等、その他関係者等と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映して作成している。	利用者によって差はあるが、カンファレンス時以外にもご家族が訪問されたときに話し合いを行っている。	0		0	日々の会話の中から利用者の意向を聞き取ったり、来訪時や電話連絡時 に家族に希望を確認し、カンファレンスで話し合った上で、計画作成担当者		
介護計画	С	重度の利用者に対しても、その人が慣れ親しんだ暮らし 方や日々の過ごし方ができる内容となっている。	その人の過ごしてきた生活に近づくように努力しているが、重度の方が本当に望んでいる暮らしは、重度の方が半数以上の現状ではむつかしい。				がそれぞれの意見やアイデアを反映して作成している。		
	d	本人の支え手として家族等や地域の人たちとの協力体 制等が盛り込まれた内容になっている。	御家族や地域の方ともより良い関係が築けていると感じている。				<b>7</b>		
	а	利用者一人ひとりの介護計画の内容を把握・理解し、職 員間で共有している。	個別にカンファレンスを行い対応している。			0	- 利用者一人ひとりの介護計画の内容は、カンファレンスで共有するようにし		
<sub>5</sub> 介護計画に基づいた	b	介護計画にそってケアが実践できたか、その結果どうだったかを記録して職員間で状況確認を行うとともに、 〇日々の支援につなげている。	毎月担当職員が評価表を記入し、計画作成担当者が総括を行い、管理者と検討し結果を職員間 で共有している。			Δ	ている。毎月担当職員が評価し計画作成担当者が総括するようにしているが、日々の実践記録の内容が不十分で職員は理解しにくくケアに活かせていないため、誰が見てもわかりやすいよう記録し日々の支援につなげて欲		
り日々の支援	С	利用者一人ひとりの日々の暮らしの様子(言葉・表情・しぐさ・行動・身体状況・エピソード等)や支援した具体的 内容を個別に記録している。	1人1人の記録を日々の記録に行っているが、行ったことの記録になっており、しぐさや表情までわかるような詳しい記録はほとんど夜勤時で日中の日々の暮らしやエピソードが少ない。			Δ	しい。介護記録に関して管理者は、「その人の生活が見えるものにしたい」 との思いがあるが、利用者の様子等の記録が不十分であり、日頃の表情 やしぐさ、職員の気づきやアイデアなどを職員全員で共有できるよう記録す		
	d	利用者一人ひとりについて、職員の気づきや工夫、アイ デア等を個別に記録している。	気付きや工夫アイデアなどは、毎日に記録に記入していないことが多い。			Δ	ることが望まれる。		
	а	介護計画の期間に応じて見直しを行っている。    ◎	介護計画の期間に応じて見直しを行っており、きめ細かい対応ができている。			0			
現状に即した 6 介護計画の見直し	b	新たな要望や変化がみられない場合も、月1回程度は現 状確認を行っている。	変化のない場合も毎月評価で状態の確認を行っている。			0	「介護計画は3か月に1回見直しており、見落とさないように一覧表を作成している。新たな要望や変化がない場合も月1回は現状確認を行い、状態に変化があった場合には見直すよう関係者と話し合い、現状に合った介護計		
	С	本人の心身状態や暮らしの状態に変化が生じた場合は、随時本人、家族等、その他関係者等と見直しを行い、現状に即した新たな計画を作成している。	本人の心身の状態に変化のあった場合には、カンファレンスを行い計画の見直しを行っている。			0	画を作成している。		
	а	チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、定期的、あるいは緊急案件がある場合にはその都度会議 O を開催している。	朝夕の申し送り時に、臨時会議を開催している。			0			
7 チームケアのための会議		会議は、お互いの情報や気づき、考え方や気持ちを率 直に話し合い、活発な意見交換ができるよう雰囲気や場 づくりを工夫している。	出席者は全員発表できるようにしている。				/ 月1回ミーティングで話し合い、緊急案件がある場合にはその都度話し合う 機会を設けている。会議に参加できない職員は、会議録を確認することで		
	С	会議は、全ての職員を参加対象とし、可能な限り多くの職員が参加できるよう開催日時や場所等、工夫している。	夜間や、昼間の職員が集まりやすい時間を模索している。				共有している。		
	d	参加できない職員がいた場合には、話し合われた内容 を正確に伝えるしくみをつくっている。	会議の内容は、ミーテイング記録や日誌に記載し、各階で職員がいつも見ることができるように ファイルしている。			0			
	a 、情報伝達 b	a II	a 精	職員間で情報伝達すべき内容と方法について具体的に 検討し、共有できるしくみをつくっている。	個人記録、日誌、温度版を利用し伝達情報を共有している。			0	日々の申し送りノートや日誌は各自が確認するようにしており、ミーティング 記録は確認印やサインをして共有している。医療的ケアや薬の変更などに
8  確実な申し送り、情報伝達		日々の申し送りや情報伝達を行い、重要な情報は全ての職員に伝わるようにしている。(利用者の様子・支援に関する情報・家族とのやり取り・業務連絡等)	日々申し送りを行い、職員が公休をとった後は、職員が公休の間の記録を読むように指導している。	0			関しては、全ユニットの利用者の状況が伝わるよう申し送りに努め、職員全員で共有するようにしている。		

項目 評価項目	目	小項日	内 容	自己評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
(2)日々の支援									
			利用者一人ひとりの「その日したいこと」を把握し、それ を叶える努力を行っている。		会話好きの人、習字をする人、テレビを見る人、塗り絵をする人等本人がその日にしたい事に対応 できるよう職員は努力している。				
		b	利用者が日々の暮らしの様々な場面で自己決定する機会や場をつくっている。(選んでもらう機会や場をつくる、 選ぶのを待っている等)	0	意思疎通のむつかしい方にも、無理強いせず、本人が選ぶのを待つよう努力している。			0	
		С	利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた支援を行うなど、本人が自分で決めたり、納得しながら暮らせるよう支援している。	0	利用者の持つ能力に合わせて、利用者ごとに声掛けを行い本人が自分で決定して納得して暮らせるように支援している。				着替えの衣服や外出先、おやつや飲み物など利用者に選択してもらっている。
り 利用者一人ひと 意向を大切にした		٦,	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースや習慣を大切にした支援を行っている。(起床・就寝、食事・排泄・入浴等の時間やタイミング・長さ等)	0	起床、食事、排泄等一人一人のペースに合わせて支援を行っている。				る。服装のバランスが悪い場合は、アドバイスもするようにしている。職員 は利用者に喜んでもらえるよう声かけ等に工夫するなど、雰囲気づくりに努 めている。
		е	利用者の活き活きした言動や表情(喜び・楽しみ・うるおい等)を引き出す言葉がけや雰囲気づくりをしている。	0	雰囲気が明るくなるような「和顔愛語」に努めている。			0	
		_	意思疎通が困難で、本人の思いや意向がつかめない場合でも、表情や全身での反応を注意深くキャッチしながら、本人の意向にそった暮らし方ができるよう支援している。	0	優しく声掛けを行い、本人の気持ちを表出しやすいように努めている。				
		а	職員は、「人権」や「尊厳」とは何かを学び、利用者の誇 りやプライバシーを大切にした言葉かけや態度等につい て、常に意識して行動している。	0	「和顔愛言」を標語にして、利用者が人生の先輩であるという思いを持ち行動している。	0	0	0	
一人ひとりの誇り プライバシーを尊 関わり		b	職員は、利用者一人ひとりに対して敬意を払い、人前であからさまな介護や誘導の声かけをしないよう配慮しており、目立たずさりげない言葉がけや対応を行っている。	0	さりげない声掛けで、気持ちの通った介護ができるように努めている。			0	毎月のミーティング後、利用者の誇りやプライバシーを尊重するよう話し合 う機会を設けるなどケアの意識の共有に努めている。利用者を人生の先輩
10		С	職員は、排泄時や入浴時には、不安や羞恥心、プライバ シー等に配慮ながら介助を行っている。	0	個別の入浴など、プライバシーに配慮して安心して介護を受けることができるように支援している。				として尊重し、声かけもさりげなく丁寧に行っている様子を窺うことができた。居室への出入りの際はプライバシ―に配慮し、ノックや声かけをし利用 者の許可を得るようにしている。
		d	職員は、居室は利用者専有の場所であり、プライバシーの場所であることを理解し、居室への出入りなど十分配慮しながら行っている。	0	利用者の人格を尊重しプライバシーを損ねないように対応している。			0	古 U2 IT で   可 O S ブ C C C U O 。
		е	職員は、利用者のプライバシーの保護や個人情報漏え い防止等について理解し、遵守している。	0	プライバシーの保護、利用者の安全管理は行っている。				7
		а	職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、利 用者に助けてもらったり教えてもらったり、互いに感謝し 合うなどの関係性を築いている。	0	洗濯ものたたみやお茶パック入れ、イリコのはらわたとり等職員と一緒に行い、「ありがとう」と感謝 の気持ちを伝えている。				
		b	職員は、利用者同士がともに助け合い、支え合って暮ら していくことの大切さを理解している。		利用者同士で、ひざ掛けを掛け合ったり話を聞いてあげたり利用者同士が支え合う暮らしを大切 にしている。				7 職員は利用者同士の関係を把握しており、トラブルになりそうな時は、職員
ともに過ごし、 支え合う関係	:もに過ごし、 をえ合 <b>う</b> 関係	С	職員は、利用者同士の関係を把握し、トラブルになったり孤立したりしないよう、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。(仲の良い利用者同士が過ごせる配慮をする、孤立しがちな利用者が交わえる機会を作る、世話役の利用者にうまく力を発揮してもらう場面をつくる等)。	0	仲の良い利用者同士で過ごされることを援助をし、孤立しがちな利用者をお世話する利用者に感謝の意を伝えている。			0	が話題を変えたり席を変更するなど、さりげなく関わるようにしている。職員は利用者が孤立することがないよう見守っているが、お互いを気にかけ声をかけ合うなど、利用者同士は良好な関係が築けており職員は心強く感じている。
		d	利用者同士のトラブルに対して、必要な場合にはその解消に努め、当事者や他の利用者に不安や支障を生じさせないようにしている。		利用者同士が不穏になるようなときには、職員が間に入り、レクレーションなどを行ったり散歩に 行ったりして不安の解消に努めている。				

項目 No.	評価項目	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域評価	外部評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
		а	これまで支えてくれたり、支えてきた人など、本人を取り 巻く人間関係について把握している。	0	利用者、家族からの聞き取りと日々の話の中で、把握するよう努めている。				, and the same of
		d l	利用者一人ひとりがこれまで培ってきた地域との関係や 馴染みの場所などについて把握している。	0	入居時の聞き取りや本人との会話の中で把握に努めている。				T
	馴染みの人や場との関係 継続の支援	С	知人や友人等に会いに行ったり、馴染みの場所に出かけていくなど本人がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう支援している。	0	自宅がホームから近い方は、散歩のときに近くまで行くようにしている。知人の面会を受け入れ今までの良好な関係が保ているよう努力している。				T
		d	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。	0	日中はいつでも気軽に来ていただき、居室にてなじみの方と過ごされている。				T
			利用者が、1日中ホームの中で過ごすことがないよう、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう取り組んでいる。(職員側の都合を優先したり、外出する利用者、時間帯、行き先などが固定化していない)(※重度の場合は、戸外に出て過ごすことも含む)		散歩ができるように支援している。職員や家族とともに外出しショッピングや外食に出かけている。	0	0	Δ	重度の利用者も含め、近くの公園や神社に散歩等に出かけているが、要望
13	日常的な外出支援	b	地域の人やボランティア、認知症サポーター等の協力も 得ながら、外出支援をすすめている。	×	地域の人やボランティアなどの外出支援はしていない。職員家族とのみになっている。				た応じているのは、2週間に1回近くのコンビニへ買い物に行く程度で物足りなさを感じるため、利用者が少しでも外の空気を吸い気分転換が図れる
		d	重度の利用者も戸外で気持ち良く過ごせるよう取り組ん でいる。	Δ	重度の方も車いすでの散歩に努めている。			Δ	よう努めて欲しい。
			本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら、普段は行けないような場所でも出かけられるように 支援している。	Δ	ご家族の協力を得て、外食に出かける利用者もおられる。				7
		а	職員は認知症や行動・心理症状について正しく理解しており、一人ひとりの利用者の状態の変化や症状を引き起こす要因をひもとき、取り除くケアを行っている。	0	利用者の状態を日々の申し送り時に話し合い、研修などにも参加している。				
	心身機能の維持、 向上を図る取り組み	b	認知症の人の身体面の機能低下の特徴(筋力低下・平 衡感覚の悪化・排泄機能の低下・体温調整機能の低下 嚥下機能の低下等)を理解し、日常生活を営む中で自 然に維持・向上が図れるよう取り組んでいる。		毎日、ラジオ体操、リハビリ体操を行い、食事の自力摂取、トイレでの排せつができるよう支援して いる。				7 入浴時の脱衣と着衣は、時間がかかっても自分で行ってもらうよう支援している。食事介助も自分でできる部分は、手を出さず見守るようにしている。
			利用者の「できること、できそうなこと」については、手や 口を極力出さずに見守ったり一緒に行うようにしている。 (場面づくり、環境づくり等)	0	着替えや食事の時に、本人のできない事のみ支援し、本人ができることは見守りを行っている。	©		0	
		a b	利用者一人ひとりの生活歴、習慣、希望、有する力等を 踏まえて、何が本人の楽しみごとや役割、出番になるの かを把握している。		習字が得意な方には毎日の献立書きをお願いしている。				
15	役割、楽しみごと、 気晴らしの支援		認知症や障害のレベルが進んでも、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、日常的に、一人ひとりの楽しみごとや役割、出番をつくる取り組みを行っている。	0	新聞の読み聞かせなど、各個人の能力に合わせた役割をお願いしている。	0	0	0	洗濯物たたみや新聞の読み聞かせ、習字の指導や昼食メニューの書き出しなど、利用者一人ひとりの得意なことを役割として力が発揮できるように努めている。
			地域の中で役割や出番、楽しみ、張り合いが持てるよう 支援している。	Δ	祭りの神輿など、近くで楽しめるように支援している。				7

項目 No.	<u>グルーフホームはどり</u> 評価項目	小	自己評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
		身だしなみを本人の個性、自己表現の一つととらえ、 の人らしい身だしなみやおしゃれについて把握している。 利用者一人ひとりの個性、希望、生活歴等に応じて、	髪	朝の整容等、自分でできる方はしていただき、洋服の着替え時は好みを確認しその人らしい装いにしている。 服装、持ち物等好みのものを支援し配置している。				7
		b 形や服装、持ち物など本人の好みで整えられるように 援している。 自己決定がしにくい利用者には、職員が一緒に考え	- [.]	職員が共に考え本人の気持ちに寄り添って決定の支援をしている。				
	だしなみや	c アドバイスする等本人の気持ちにそって支援している 外出や年中行事等、生活の彩りにあわせたその人ら	. 0	外出や年中行事に合わせ利用者とともに服装を選んでいる。	<u>/</u>		/	髪や服装の乱れは、さりげなく居室で整えるようにしている。重度の利用者 も含め、好みの服装や髪型に整えるなど、その人らしさが保てるよう支援に
)   	しゃれの支援	d い服装を楽しめるよう支援している。 整容の乱れ、汚れ等に対し、プライドを大切にしてさり e なくカバーしている。(髭、着衣、履き物、食べこぼし、	げ	プライドを大切にして介護度が重度の方もさりげなくカバーしている。	<u>/</u>	6	0	努めている。
		の周囲等) f 理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている		本人や家族の希望に沿って行われている。				
		重度な状態であっても、髪形や服装等本人らしさが保 g る工夫や支援を行っている。	٥ ا	髪型、服装は、職員が整え、衣類はご家族にこの民物を持ってきてもらっている。			0	
		a 職員は、食事の一連のプロセスの意味や大切さを理知している。	解 ◎	1人1人の健康と楽しみとを理解しほぼ手作りにて対応している。				
		b 買い物や献立づくり、食材選び、調理、後片付け等、利用者とともに行っている。	0	利用者の食べたいものを確認したり下膳などのできる方はお願いしている。			0	
		利用者とともに買い物、調理、盛り付け、後片付けをする ちる等を行うことで、利用者の力の発揮、自信、達成感 つなげている。		買い物や後片付けを手伝われた方にはかんしゃの気持ちを伝え達成感に繋げている。				
		d 利用者一人ひとりの好きなものや苦手なもの、アレルギーの有無などについて把握している。		個別の記録や申し送りで伝え、職員が把握している。				
		献立づくりの際には、利用者の好みや苦手なもの、ア ルギー等を踏まえつつ、季節感を感じさせる旬の食材 や、利用者にとって昔なつかしいもの等を取り入れて る。	t   ⊚	利用者の好みやアレルギーを踏まえながら、季節感のあるものを提供している。			0	
		利用者一人ひとりの咀嚼・嚥下等の身体機能や便秘 病等の健康状態にあわせた調理方法としつつ、おいし そうな盛り付けの工夫をしている。(安易にミキサー食 刻み食で対応しない、いろどりや器の工夫等)	下	利用者の身体機能を踏まえ、咀嚼のむつかしい方のみ刻み食にしている。				買い物や食材選び、調理などは職員が行っており、座ってできる下ごしらえなどを手伝ってもらっている。アレルギーのある利用者には個別に代替品を用意し、旬の食材を使い季節感のある食事の提供を心がけている。茶碗
	事を楽しむことの	茶碗や湯飲み、箸等は使い慣れたもの、使いやすい。 のを使用している。	€ ⊚	食器などは個人が使い慣れた使いやすいものを使用している。			0	や湯飲み、箸等は自宅から持参してもらい、割れた時などは誕生日プレゼントとして自分で選んでもらうなど、使いやすいものが使用できるようにして
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きる支援	職員も利用者と同じ食卓を囲んで食事を一緒に食べれがら一人ひとりの様子を見守り、食事のペースや食べの混乱、食べこぼしなどに対するサポートをさりげなく行っている。	方	同じ食卓で、同じ食事を一緒に食べ、利用者の様子を見守りその人のペースで食べることができる ようサポートしつつ行っている。			©	いる。職員も同じテーブルで食事をしながらさりげないサポートを行っており、家庭的な雰囲気の中食事をしていた。リビングに面したキッチンでの調理は、重度の利用者も調理の音や匂いを感じることができる。献立は利用 者の希望を取り入れて給食委員がつくるほか、バランスの良い栄養が摂れ
		重度な状態であっても、調理の音やにおい、会話など i 通して利用者が食事が待ち遠しくおいしく味わえるよう 雰囲気づくりや調理に配慮している。		アイランド型キッチンで食卓より調理場が見え食事の雰囲気が感じられるようにしている。	0		0	るよう職員間で話し合っている。
		利用者一人ひとりの状態や習慣に応じて食べれる量 j 栄養バランス、カロリー、水分摂取量が1日を通じて確 できるようにしている。		利用者に応じて食事量の調整を行う。好みの飲み物で水分摂取をして栄養バランスにも配慮している。				
		食事量が少なかったり、水分摂取量の少ない利用者はは、食事の形態や飲み物の工夫、回数やタイミング等夫し、低栄養や脱水にならないよう取り組んでいる。	<b> </b>	食事、水分量の摂取が少ない時には、回数やタイミング形態の工夫を行っている。				
		職員で献立のバランス、調理方法などについて定期的 I に話し合い、偏りがないように配慮している。場合によっては、栄養士のアドバイスを受けている。					0	
		食中毒などの予防のために調理用具や食材等の衛生 m 管理を日常的に行い、安全で新鮮な食材の使用と管 に努めている。		調理用具や食材の衛生管理に努め新鮮な食材を使用している。				

### 2000年の東京の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	項目 No.	<u> </u>	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域	な 外部 証 評値	部 実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
1						訪問歯科受診時の、歯科医師、歯科衛生士のお話や研修を受け理解に努めている。				
18   おおから   10   10   10   10   10   10   10   1			b	利用者一人ひとりの口の中の健康状況(虫歯の有無、 義歯の状態、舌の状態等)について把握している。		月1回歯科医師の居宅管理指導を受け、一人一人の口腔内の状態を把握している。			0	)
日本の本人を考生した人とう変化しない。			С		:					
### 1757-04-25 日度の影響を日本的と大利では、使	18	口腔内の清潔保持	d	義歯の手入れを適切に行えるよう支援して <b>い</b> る。	0	できない所は介助して義歯の手入れを行い、夜間は義歯洗浄液を利用して洗浄している。				<b>/</b> :
### 1 世界の自立支管			е	生じないよう、口腔の清潔を日常的に支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症の	Ο				0	)
機能を集合を上につながらえた。またり、10年17年17年20日   19月   19月			f			口腔内に異常があれば歯科医に往診を依頼し対応している。				7
10			а	機能を高めることにつながることや、おむつ(紙パンツ・パッドを含む)の使用が利用者の心身に与えるダメージ		要介護5の場合でも、職員の介助でトイレで排泄できる場合はトイレで排泄を行っている				
□ □、当業・場合の影響等 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			b	職員は、便秘の原因や及ぼす影響について理解している。		便秘が身体や精神に及ぼす影響を職員は理解している。				7
19			С			日常の記録を含め申し送りでも把握している。				7
10   排泄の自立支援			d	ンツ・パッドを含む)使用の必要性や適切性について常に見直し、一人ひとりのその時々の状態にあった支援を	0	個別に必要性を理解して、状態にあった介護を行っている。	0		0	
排泄する少数を診りため、個でのパターンや発検に合わして   おかっが、	19	排泄の自立支援	е	できる点はないか検討しながら改善に向けた取り組みを		看護師も交えて話し合いを行い、改善に向けた取り組みをしている。				 
は、一方的に選問するのではなべ、とういう時間帯にと のようなものを選択であるよう 支援している。  利用帝―人ひとりの状態に合わせて下着やおむつ(紙 が、次の外みや自分で使えるものを選択できるよう 支援している。  利用帝―人ひとりの状態に合わせて下着やおむつ(紙 が、次の水の小を書前した透過時度い分けている。  ※分類物の工夫や運動への働きかけなど、個々の状態に 「むして現金を持つからは動きを促す取り組みを行っている。 (要に担らない取り組み)  「選出・中に関係を提出の都合で決めてしまわずに、利用 書ー人ひとりの希望や習慣にそって入治できるよう支援している。(実に担らない取り組み)  「選出・中に関係を検討の都会や習慣にそって入治できるよう支援している。(美に担らない取り組み)  「という。(美国版、抵金、国数、温度等)  「人治がでるように支達している。  入治を楽しむことが できる支援  「大力とりが、くつるいだ気分で入治できるよう支援している。  「大力とりが、くつるいだ気分で入治できるよう支援している。  「大力としが、クラムに支気がて入治できるよう支援している。  「大力としが、クラムに支別ができるよう支援している。  「大力としが、クラムに支別ができるよう支援している。  「大力としが、クラムに支別ができるよう支援している。  「大力としが、クラムに支別ができるよう支援している。  「大力としが、クラムに支別ができるよう支援している。  「大力としが、クラムに支別ができるよう支援している。  「大力としが、クラムに支別がでは、その原因や理由を理解しておけ、実践は、大力とのできるようはほとんどおられず、不穏や混乱などで一時的にむつかしい場合は、湯かんを要更して投場している。  「大治師にイタルを変生し、入治後は本分補給を行いながら状態観察を行っている。  入治前にバイタルを変生し、入治後は本分補給を行いながら状態観察を行っている。  入治前にバイタルを変生し、入治後は本分補給を行いながら状態観察を行っている。  入治前にバイタルを変生し、入治後は本分補給を行いながら状態観察を行っている。  入治前にバイタルを変生し、入治後は本分補給を行いながら状態観察を行っている。  入治前にバイタルを変生し、入治後は本分補給を行いながら状態観察を行っている。  入治前にバイタルを変生し、入治後は本分補給を行いながら状態観察を行っている。		,,,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	f			排泄チェック表などを利用し、個別の排泄パターンを把握して排泄の失敗を防いでいる。				
利用者一人ひとりの状態に合わせて下着やおむつ(紙 パンツ・パッドを含む)を適時使い分けている。   飲食物の工夫や運動への働きかけなど、個々の状態に   応じて便秘予防や自然排便を促す取り組みを行っている。   業日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、利用   者一人ひとりが、くつろいだ気分で入浴できるよう支援 している。   (等に積らない取り組み)   曜日や時間帯はほぼ決まっているが入浴拒否や本人の状態により柔軟に曜日や時間を変更して   人浴ができるようで実施している。   人浴を楽しむことが   できる支援   している。   (等の力を活かしながら、安心して入浴できるよう支援している。   人浴を変している。   人浴を振む人に対しては、その原因や理由を理解してお   以、無理強いせずに気持ち良く入浴できるよう工夫して   人浴がには、その月の世連な理解してお   以、無理強いせずに気持ち良く入浴できるよう工夫して   人浴前には、その日の健康状態を確認し、入浴の可否   人浴前には、その日の健康状態を確認し、入浴の可否   人浴前には、その日の健康状態を確認し、入浴の可否   人浴前にバイタルを測定し、入浴後は水分補齢を行いながら状態観察を行っている。   人浴前には、その日の健康状態を確認し、入浴の可否   人浴前にバイタルを測定し、入浴をは水分補齢を行いながら状態観察を行っている。   人浴前にバイタルを測定し、入浴をは水分補齢を行いながら状態観察を行っている。   人浴前には、その日の健康状態を確認し、入浴の可否   人浴前にバイタルを測定し、入浴をは水分補齢を行いながら状態観察を行っている。   人浴前にがく水の可な   人浴前にバイタルを測定し、入浴を水かり様に観察を行っている。   人浴前にがく水できないのはないます   人浴を水のする   人浴前にがイタルを測定し、入浴を水のはないを水に観し、入浴を水のは、温水のする   人浴を水のは、ストロれば、スト			g	員が一方的に選択するのではなく、どういう時間帯にどのようなものを使用するか等について本人や家族と話し合い、本人の好みや自分で使えるものを選択できるよう						7
飲食物の工夫や運動への働きかけなど、個々の状態に   i 応じて便移予防や自然機便を促す取り組みを行っている。			h			その時の生活場面や本人の状態に合わせている。				7
□ 日 中時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、利用 者一人ひとりの希望や習慣にそって入浴できるよう支援している。				応じて便秘予防や自然排便を促す取り組みを行ってい						7
20 入浴を楽しむことが できる支援 c 本人の力を活かしながら、安心して入浴できるよう支援 c 本人の力を活かしながら、大浴を提供している。			а	者一人ひとりの希望や習慣にそって入浴できるよう支援			0		0	
○ している。			b			1人1人の状態に合わせて、ゆったりと入浴できるように支援している。				7
d り、無理強いせずに気持ち良く入浴できるよう工夫して O して提供している。 いる。	20	入浴を楽しむことが できる支援	С	本人の力を活かしながら、安心して入浴できるよう支援 している。		普通の浴槽での入浴が困難な方には、リフト浴を提供している。				✓ 入浴日や時間帯は決まっているが、利用者からの要望に応じるなど柔軟な対応にも努めている。
人浴前には、その日の健康状態を確認し、人浴の可否   〇 🎚				り、無理強いせずに気持ち良く入浴できるよう工夫して	0	して提供している。				7
			е	入浴前には、その日の健康状態を確認し、入浴の可否 を見極めるとともに、入浴後の状態も確認している。		入浴前にバイタルを測定し、入浴後は水分補給を行いながら状態観察を行っている。				

項目 No. 評価項	I	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
		а	利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握している。	0	介護記録に記録し、申し送り各個人の睡眠パターンを把握している。				
		b	夜眠れない利用者についてはその原因を探り、その人 本来のリズムを取り戻せるよう1日の生活リズムを整え る工夫や取り組みを行っている。	0	利用者の希望に沿って休息をとっている。重度の方が多く、昼食後に午睡を取り入れている。				ロカに海動やリッドリ体操、数集等活動してもこい方間空間できて トネギ
21 安眠や休息の支	支援	С	睡眠導入剤や安定剤等の薬剤に安易に頼るのではなく、利用者の数日間の活動や日中の過ごし方、出来事、 支援内容などを十分に検討し、医師とも相談しながら総 合的な支援を行っている。	0	主治医や看護師と相談しながら総合的に支援を行っている。			0	- 日中に運動やリハビリ体操、散歩等活動してもらい夜間安眠できるよう支援するなど、安易に睡眠導入剤に頼らない支援に努めている。
			休息や昼寝等、心身を休める場面が個別に取れるよう 取り組んでいる。	0	重度の方が多く、個別に休息をとっている。				
		а	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり 取りができるように支援をしている。	0	本人の希望で家族に連絡することもあり、家族からの電話は取り次いでいる。携帯電話使用の場合はその援助も行っている				**************************************
		b	本人が手紙が書けない、電話はかけられないと決めつけず、促したり、必要な手助けをする等の支援を行っている。		本人の希望時に手紙や電話の支援を行っている。				**************************************
22 電話や手紙の支	<del>-</del> 5援	С	気兼ねなく電話できるよう配慮している。	0	希望時には配慮している。				
			届いた手紙や葉書をそのままにせず音信がとれるように 工夫している。	0	利用者が可能であれば、音信が取れるように支援している。				- Company of the Comp
		е	本人が電話をかけることについて家族等に理解、協力を してもらうとともに、家族等からも電話や手紙をくれるよう お願いしている。		本人の希望時や家族から連絡あるときは支援している。				
		а	職員は本人がお金を所持すること、使うことの意味や大切さを理解している。	0	職員はお金を使うことが生活の楽しみになることを理解している。				
		b	必要物品や好みの買い物に出かけ、お金の所持や使う 機会を日常的につくっている。	0	必要物品を購入するために職員と買い物に行く。				
			利用者が気兼ねなく安心して買い物ができるよう、日頃 から買い物先の理解や協力を得る働きかけを行ってい る。	0	近くのコンビニなどの理解を得ており、協力多岐な対応を受けている。				The state of the s
23 お金の所持や 使うことの支援		d	「希望がないから」「混乱するから」「失くすから」などと一方的に決めてしまうのではなく、家族と相談しながら一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	0	事務所でお金の管理を行うが、本人が使うことができるように支援している。				To the state of th
		е	お金の所持方法や使い方について、本人や家族と話し 合っている。	0	本人や家族と話し合っている。				To the state of th
		f	利用者が金銭の管理ができない場合には、その管理方法や家族への報告の方法などルールを明確にしており、本人・家族等の同意を得ている。(預り金規程、出納帳の確認等)。	0	家族と管理の方法などについて話し合い同意を得ている。				The state of the s
24 多様なニーズに 応える取り組み			本人や家族の状況、その時々のニーズに対応して、既 存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの 多機能化に取り組んでいる。	0	本人や家族の状況などに対応して柔軟なサービスを行っている。	0		0	家族が対応できない急な病院受診等に職員が付き添うなど、柔軟なサース提供に努めている。

項目 No.	県クルーフホームはとり 評価項目	小 項	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと		
(3) 4	E活環境づくり										
25	気軽に入れる 玄関まわり等の配慮		利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、気軽 に出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をして いる。	Ο	日中は、玄関の鍵をかけておらず、出入り自由の状態にしている。	0	0	0	玄関まわりは同じ道路に面した一般の住宅のようで、玄関内は飾り付けの ないシンプルな設えであり、一般家庭のように気軽に入れる家庭的な雰囲 気になっている。		
		а	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、家庭的な雰囲気を有しており、調度や設備、物品や装飾も家庭的で、住まいとしての心地良さがある。 (天井や壁に子供向けの飾りつけをしていたり、必要なものしか置いていない殺風景な共用空間等、家庭的な雰囲気をそぐような設えになっていないか等。)		玄関や今の花は季節に合わせて活けて、居間・食堂のスペースでくつろぐことができるよう、温度 や明るさに配慮して支援している。	0	0	0			
	民心地の白い	b	利用者にとって不快な音や光、臭いがないように配慮 し、掃除も行き届いている。	0	毎日掃除を行い、居室にほこりや不快な臭いがないように支援していいる。			©	キッチンやリビングを囲むように居室を配置しており、事業所建物の中心に 利用者が集まりくつろいでいる。生活感がある中にも、整理整頓と掃除が		
26	居心地の良い 共用空間づくり	С	心地よさや能動的な言動を引き出すために、五感に働きかける様々な刺激(生活感や季節感を感じるもの)を生活空間の中に採り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。		居間の壁面は季節ごとに装飾を変え、季節感を取り入れた演出をしている。			©	行き届いている。クリスマスに向けてツリーや壁飾り等でカウントダウンを 演出するなど、季節感も感じられる。		
		d	気の合う利用者同士で思い思いに過ごせたり、人の気 配を感じながらも独りになれる居場所の工夫をしてい る。	0	気の合う方が、居間のソファーや食堂で話し込んでいたり、畳の縁側スペースで一人でいたり思い思いに過ごしている。						
		е	トイレや浴室の内部が共用空間から直接見えないよう工夫している。	0	共同空間から直接見えないような場所にある。						
27	居心地良く過ごせる 居室の配慮		本人や家族等と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている。		本人の使い慣れた家具を持参されたり、思い出のある品物を置いて、居心地の良い自分の空間で 過ごせている。	0		©	利用者の馴染みのある家具や思い出の写真など大切なものに囲まれ、居 心地良く過ごせる空間になっている。		
		а	建物内部は利用者一人ひとりの「できること」や「わかる こと」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送 れるように配慮や工夫をしている。	Ο	1人1人の状態に合わせた居室内の配置を行い、共有場所の安全確保に努めている。			0			
28	一人ひとりの力が 活かせる環境づくり	b	不安や混乱、失敗を招くような環境や物品について検討 し、利用者の認識間違いや判断ミスを最小にする工夫を している。	0	利用者が安全に移動できるスペース等を配慮し工夫している。				/ トイレなどの位置が利用者に分かりやすく表示されているほか、キッチンからは2か所の出入口とトイレも見渡せ、職員が見守る中自立した生活が送っれるよう支援している。		
		С	利用者の活動意欲を触発する馴染みの物品が、いつでも手に取れるように生活空間の中にさりげなく置かれている。(ほうき、裁縫道具、大工道具、園芸用品、趣味の品、新聞・雑誌、ポット、急須・湯飲み・お茶の道具等)	Ο	化粧道具や趣味の手芸用具など、日常で使い慣れたなじみの物が手の届く場所に置いてある。						
		а	а	а	代表者及び全ての職員が、居室や日中にユニット(棟)の出入り口、玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。(鍵をかけられ出られない状態で暮らしていることの異常性、利用者にもたらす心理的不安や閉塞感・あきらめ・気力の喪失、家族や地域の人にもたらす印象のデメリット等)	Ο	出入り口に鍵はなく、1階の玄関も通常の居宅のように深夜のみ施錠しており、日中は出入り自由である。	0	0	0	
29	鍵をかけない ケアの取り組み	b	鍵をかけない自由な暮らしについて家族の理解を図っている。安全を優先するために施錠を望む家族に対しては、自由の大切さと安全確保について話し合っている。	Ο	に中に施錠を望むご家族は現在おられない。				職員は鍵をかけることの弊害を十分理解しており、玄関等の施錠はしておらず、自由に出入りできるようになっている。		
		С	利用者の自由な暮らしを支え、利用者や家族等に心理 的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくて もすむよう工夫している(外出の察知、外出傾向の把 握、近所の理解・協力の促進等)。		帰宅願望のある方には、散歩などで気分転換を行っていただき対応している。						

項目 No.	評価項目	小項目	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
(4) 仮	建康を維持するための支	援							
			職員は、利用者一人ひとりの病歴や現病、留意事項等 について把握している。	0	個人ファイルに記載されており、確認できるようになっている。				annen anne anne anne anne anne anne ann
	日々の健康状態や 病状の把握	b	職員は、利用者一人ひとりの身体状態の変化や異常のサインを早期に発見できるように注意しており、その変化やサインを記録に残している。	0	朝・夕の申し送りやバイタルチェックで確認し以上の早期発見に努めている。				
		С	気になることがあれば看護職やかかりつけ医等にいつ でも気軽に相談できる関係を築き、重度化の防止や適 切な入院につなげる等の努力をしている。	0	常勤の看護職がおり必要な場合は協力医や、主治医と相談できる。				ann
		а	利用者一人ひとりのこれまでの受療状況を把握し、本 人・家族が希望する医療機関や医師に受診できるよう支 援している。	0	協力医療機関の往診や、歯科往診もあるが。本人・家族の希望する医療機関を受診できている。	0			Terrence against the second se
31	かかりつけ医等の 受診支援	b	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を 受けられるように支援している。	0	本人家族の希望を大切にし、希望のかかりつけ医の受診支援を行っている。				
		С	通院の仕方や受診結果の報告、結果に関する情報の伝達や共有のあり方等について、必要に応じて本人や家族等の合意を得られる話し合いを行っている。	0	必要に応じて本人・家族、医師・看護師・介護士の合意を得られるよう話し合いを行っている。				
			入院の際、特にストレスや負担を軽減できる内容を含む 本人に関する情報提供を行っている。	0	入院時、必要な情報提供を行っている。				
32	入退院時の医療機関との 連携、協働	b	安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院 できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めて いる。	0	できるfだけ早期に退院できるように看護師・介護支援専門員が病院との連携に努めている。				
		С	利用者の入院時、または入院した場合に備えて日頃か ら病院関係者との関係づくりを行っている。	0	日頃から、各病院関係者との関係つくりを行っている。				***************************************
		а	介護職は、日常の関わりの中で得た情報や気づきを職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談している。 看護職の配置や訪問看護ステーション等との契約がない場合は、かかりつけ医や協力医療機関等に相談している。		職場内の看護職や協力医療機関に伝え相談している。				######################################
33	看護職との連携、協働		看護職もしく訪問看護師、協力医療機関等に、24時間い つでも気軽に相談できる体制がある。		母体である病院とは内線でつながっており、24時間相談できる体制にある。				
		С	利用者の日頃の健康管理や状態変化に応じた支援が 適切にできるよう体制を整えている。また、それにより早 期発見・治療につなげている。		一日2回バイタルチェックを行い、日ごろの状態を把握しており、本人の状態変化に応じた支援ができるよう体制を整えている。				
		а	職員は、利用者が使用する薬の目的や副作用、用法や 用量について理解している。	Δ	個々に合わせた薬の容量や用法について理解できるよう努力している。				
		D	利用者一人ひとりが医師の指示どおりに服薬できるよう 支援し、飲み忘れや誤薬を防ぐ取り組みを行っている。	0	各利用者の薬袋を引き出しからとるとき、個別に用意する時服用介助をするときに名前・日付・いつ服用するかを確認して誤訳や飲み忘れを防ぐようにしている。				
34	服薬支援	С	服薬は本人の心身の安定につながっているのか、また、 副作用(周辺症状の誘発、表情や活動の抑制、食欲の 低下、便秘や下痢等)がないかの確認を日常的に行っ ている。	0	服用後の確認を行い、来利用者の行動や表情などの確認を行っている。				
		d	漫然と服薬支援を行うのではなく、本人の状態の経過や 変化などを記録し、家族や医師、看護職等に情報提供し ている。		服用により変化があった場合には、看護職に報告し城東提供をしている。				manusana ma

項目 No.	評価項目	小 項 内容 目	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
		重度化した場合や終末期のあり方について、入居時、ま a たは状態変化の段階ごとに本人・家族等と話し合いを行い、その意向を確認しながら方針を共有している。		入居時や重度化した場合はその都度家族に意思確認をし、必要な場合は医師、家族、職員で話し 合いを行って方針を共有している。				
		重度化、終末期のあり方について、本人・家族等だけで はなく、職員、かかりつけ医・協力医療機関等関係者で 話し合い、方針を共有している。	Δ	その時により家族や医療機関と話し合いを行う。重度化終末期については1度だけではなく何度も確認しながら援助を行っている。	0		Δ	
35	重度化や終末期への支援	管理者は、終末期の対応について、その時々の職員の c 思いや力量を把握し、現状ではどこまでの支援ができる かの見極めを行っている。		現在見取りは行っていないが、終末期の対応について職員の力量や支援の限界点を把握している。				事業所での看取りの要望は少なく実績も1件のみで、看取りの経験も少ないことから職員にも不安があることは否めない。利用者や家族の意思を確認しておくことが重要であり、関係者と方針を共有していけるよう日頃から
	主及记忆作品介绍		0	入所時の重要事項説明の時にあらかじめ説明するが、重度化した場合に再度説明と意思確認を 行っている。				話し合いの機会を持ち、終末期ケアの勉強会を実施するなど、今後看取り の要望があった際に対応できるよう取り組むことが望まれる。
		重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、家族やかかりつけ医など医療関係者と連携を図りながらチームで支援していく体制を整えている。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。		重度のなった本人を支えるために家族や医師、ケアマネ、看護職が連携を行い必要な支援をしている。				
		f 家族等への心理的支援を行っている。(心情の理解、家族間の事情の考慮、精神面での支え等)	0	本人の現状を説明するとともに職員も一緒に支えていくことを伝え、家族の心理的負担感の軽減 を図っている。				
		職員は、感染症(ノロウイルス、インフルエンザ、白癬、 なが癬、肝炎、MRSA等)や具体的な予防策、早期発見、 早期対応策等について定期的に学んでいる。		毎年、職員が感染症の勉強会や研修に参加し具体的な対応策を学びより最新の感染予防方法を 学んでいる。				
		感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、万が 一、感染症が発生した場合に速やかに手順にそった対 応ができるよう日頃から訓練を行うなどして体制を整え ている。		日頃から手洗いや消毒などの対策を行っている。感染症が発生した場合早期に対応ができるよう に体制を整えている。				
36	感染症予防と対応	保健所や行政、医療機関、関連雑誌、インターネット等 c を通じて感染症に対する予防や対策、地域の感染症発 生状況等の最新情報を入手し、取り入れている。	0	保健所より地域の感染症発生情報などを入手し、想起に対応できるようにしている。				
		d 地域の感染症発生状況の情報収集に努め、感染症の 流行に随時対応している。	0	病院との連携を図り対応を行っている。				**************************************
		職員は手洗いやうがいなど徹底して行っており、利用者 e や来訪者等についても清潔が保持できるよう支援してい る。		職員の手洗いうがいを徹底し、利用者や来訪者も清潔が保持できるよう協力をお願いしている。				The state of the s

項目 No. 評価項目	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと				
Ⅱ家族との支え合い												
		職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒 哀楽をともにし、一緒に本人を支えていく関係を築いて いる。	0	本人にとって家族が来ることで安心できるため、家族とともに利用者を支えることができるよう関係 つくりを行っている。								
	b	家族が気軽に訪れ、居心地よく過ごせるような雰囲気づくりや対応を行っている。(来やすい雰囲気、関係再構築の支援、湯茶の自由利用、居室への宿泊のしやすさ等)	0	気楽に訪問で来て本人とお話ができるような雰囲気つくりをしている。								
	С	家族がホームでの活動に参加できるように、場面や機 会を作っている。(食事づくり、散歩、外出、行事等)		外出や行事への参加を呼びかけ、ご家族がホームの活動や行事に参加できるように支援している。	0		0					
本人をともに支え合う	d	来訪する機会が少ない家族や疎遠になってしまっている 家族も含め、家族の来訪時や定期的な報告などにより、 利用者の暮らしぶりや日常の様子を具体的に伝えてい る。(「たより」の発行・送付、メール、行事等の録画、写 真の送付等)	0	面会時には近況を説明するようにししている。疎遠になっているご家族には電話で近況報告を行い日常の様子を伝えている。また、請求書送付時にグループホーム新聞を一緒に送付することもある。	0			お花見会や文化祭の案内を送付し、家族にも参加してもらっている。特に お花見会には参加者が多く、桜を見た後には事業所で食事会を実施してい				
家族との関係づくりと支援	е	事業所側の一方的な情報提供ではなく、家族が知りたいことや不安に感じていること等の具体的内容を把握して報告を行っている。	0	家族の訴えを傾聴し、ご家族の不安が何か把握するようにしている。				る。来訪する機会が少ない家族や疎遠になっている家族も含め、来訪時に は近況を説明しているほか、事業所発行の新聞を請求書と一緒に送付した り、何かあれば電話で報告し相談している。行事のお知らせや利用料の変				
37	T	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係を築いていけるように支援している。(認知症への理解、本人への理解、適切な接し方・対応等についての説明や働きかけ、関係の再構築への支援等)		家族と本人の関係の理解に努めている。より容易関係になることができるよう努力しているが、関係の再構築に至るのはむつかしい場合もある。				更など、事業所の運営上の事柄については、その都度報告しているが、職員の異動に関しては来訪した家族にしか伝えていないため、今後は担当者の変更や交代等について報告するなど、家族とのより良好な関係が築けるよう努めて欲しい。家族の来訪時には職員から声をかけるなど、話しやす				
	g h	g	g	g	g	事業所の運営上の事柄や出来事について都度報告し、 理解や協力を得るようにしている。(行事、設備改修、機 器の導入、職員の異動・退職等)		行事のお知らせや、利用料の変更などその都度お知らせを行っているが、職員の移動については 来訪したご家族にのみ伝えている。	×		Δ	い雰囲気づくりに努めており、気軽に相談に応じている。
		家族同士の交流が図られるように、様々な機会を提供している。(家族会、行事、旅行等への働きかけ)	0	年2回お花見と文化祭の時に家族会を提案している。				<i>t</i>				
		i	i	利用者一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に 説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し 合っている。	0	入居時や入居間もない方はその方の考えられるリスクについての説明を行っている。				<b>7</b>		
		家族が、気がかりなことや、意見、希望を職員に気軽に 伝えたり相談したりできるように、来訪時の声かけや定 期的な連絡等を積極的に行っている。		面会時には職員から声掛けを行い、相談できるような雰囲気つくりをしている。			0	•				
		契約の締結、解約、内容の変更等の際は、具体的な説 明を行い、理解、納得を得ている。	0	個々の家族に対して説明を行い理解をしてもらっている。				annurane ann				
38 契約に関する説明と納得	b	退居については、契約に基づくとともにその決定過程を明確にし、利用者や家族等に具体的な説明を行った上で、納得のいく退居先に移れるように支援している。退居事例がない場合は、その体制がある。	0	退去理由など具体的な説明を行い、退去先にスムーズに移ることができるように支援している。				-autoratura nera nera nera nera nera nera nera ne				
	'	契約時及び料金改定時には、料金の内訳を文書で示し、料金の設定理由を具体的に説明し、同意を得ている。(食費、光熱水費、その他の実費、敷金設定の場合の償却、返済方法等)	0	契約書重要事項説明書などの文書を提示して説明し同意を得ている。				Turnerannen erren				

項目 No.	評価項目	小項日	内 容	自己評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
Ⅲ.地	域との支え合い								
		а	地域の人に対して、事業所の設立段階から機会をつくり、事業所の目的や役割などを説明し、理解を図っている。	0	自治会に出向き説明を行い理解を得るようにしている。		0		
			事業所は、孤立することなく、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、地域の人たちに対して日頃から関係を深める働きかけを行っている。(日常的なあいさつ、町内会・自治会への参加、地域の活動や行事への参加等)	0	挨拶をしたり行事には参加できるように張り紙をしたり、地域とのつながりを持つようにしている。		×	0	
	地域とのつきあいや	С	利用者を見守ったり、支援してくれる地域の人たちが増 えている。	Δ	新しく転居してきた方もいるが支援してくれる方が増えたとは言えない。				7
	ネットワークづくり ※文言の説明 地域:事業所が所在する	d	地域の人が気軽に立ち寄ったり遊びに来たりしている。	Δ	1回デイサービス部分には来訪者も多いが2階3階の建物の構造上、来訪するのは職員や利用者の知り合いのみになっている。				える。 法人で町内会に入会しており、母体病院を経由して回覧板やお知らせが届
20	市町の日常生活圏域、自治会エリア	е	隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらうなど、日常的なおつきあいをしている。	Δ	挨拶などは行っており、散歩の途中で困ったとき人助けていただくことも多いが、ホームに来訪される方は少ない。				く。地域住民の一員として自治会費を支払っている利用者もいる。近くの神 社への散歩道での挨拶や落ち葉拾い等、地域貢献や地域とのつながりづ くりに努めている。
		f	近隣の住民やボランティア等が、利用者の生活の拡がりや充実を図ることを支援してくれるよう働きかけを行っている。(日常的な活動の支援、遠出、行事等の支援)		夏祭り・敬老会・観月会・文化祭などは近隣の方たちにも声掛けを行っている。その時には地域の 母連亭あさんに協力してもらい楽しい会にしている。				
		g	利用者一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らし を楽しむことができるよう支援している。		地域資源の把握はしているが参加できる資源が少ない。利用者が安全に落ち着いて暮らすことができるように地域資源に協力を求めて行きたい。				7
			地域の人たちや周辺地域の諸施設からも協力を得ることができるよう、日頃から理解を拡げる働きかけや関係を深める取り組みを行っている(公民館、商店・スーパー・コンビニ、飲食店、理美容店、福祉施設、交番、消防、文化・教育施設等)。	0	近隣のコンビニで協力を得ることができるように関係を深めている。				
			運営推進会議には、毎回利用者や家族、地域の人等の 参加がある。	Δ	運営推進会議に参加していただける方が、徐々に減少しており、今年よりご家族や地域の方に声をかけているがまだあまり成果が上がっていない。	×		×	
			運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価へ の取り組み状況(自己評価・外部評価の内容、目標達成 計画の内容と取り組み状況等)について報告している。	0	外部評価での報告や取り組み内容については直近の運営推進会議で報告している。			0	運営推進会議の参加者が徐々に減少し、家族の参加がほとんどないた め、食事の提供を検討し案内を始めたところであり、今後はより参加者が増
40	運営推進会議を 活かした取組み	С	運営推進会議では、事業所からの一方的な報告に終わらず、会議で出された意見や提案等を日々の取り組みやサービス向上に活かし、その状況や結果等について報告している。		会議中に出た意見は議事録に残しその状態や結果を報告するようにしている。		×		えるような取組みの工夫を期待したい。会議では利用者やサービスの実際のほか、評価への取組み状況について報告しているが、報告にとどまっているのが現状であり、今後は会議で出た意見や提案等についても協議を
			テーマに合わせて参加メンバーを増やしたり、メンバー が出席しやすい日程や時間帯について配慮・工夫をして いる。	Δ	運営推進会にのメンバーさんの集まりやすい第4金曜日に行っている。		0		行い運営に活かせるよう努めて欲しい。
		е	運営推進会議の議事録を公表している。	0	各階エレベーター前に会議録を設置していつでも見ることができるようにしている。				

変見	県グループホームはとり							
項E No.	評価項目	小 項 内 容 目	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
IV.	より良い支援を行うための	運営体制						
41	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者、管理者、職員は、その理念について共通認識を持ち、日々の実践が理念に基づいたものになるよう日常的に取り組んでいる。	0	各階に理念を掲げ日々確認しながら業務にあたるようにしている。				
		b 利用者、家族、地域の人たちにも、理念をわかりやすく 伝えている。	0	入居時には特にどのような理念を持ち利用者さんに対して接していくかを伝えるようにしている。	0	0		***************************************
	職員を育てる取り組み ※文言の説明	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力 a 量を把握し、計画的に法人内外の研修を受けられるよう 取り組んでいる。	0	それそれに合った研修を受けることができるよう研修計画を作成している。				
	代表者:基本的には運営 している法人の 代表者であり、理事長や 代表取締役が該当する	管理者は、OJT(職場での実務を通して行う教育・訓練・ b 学習)を計画的に行い、職員が働きながらスキルアップ できるよう取り組んでいる。	0	職員それぞれに合わせて計画的にスキルアップができるよう教育を行っている。				
42	が、法人の規模によって、 理事長や代表取締役をそ の法人の地域密着型サー ビス部門の代表者として	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況 を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が 向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努め ている。		全ての条件を満たすことは困難ではあるが、一定の環境や条件の整備を整えられるよう努めている。				代表者は、職員のストレスチェックを行うほか、職員からの休暇の希望にも 応じるよう努めるなど、職員のストレス軽減に取り組んでいる。
	扱うのは合理的ではない と判断される場合、当該部 門の責任者などを代表者 として差し支えない。した がって、指定申請書に記 載する代表者と異なること はありうる。	代表者は管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互研修などの活動を d 通して職員の意識を向上させていく取り組みをしている。 (事業者団体や都道府県単位、市町単位の連絡会など への加入・参加)	0	愛媛県地域密着型サービス協会や今治市グループホーム交流会に加入して交流が図れるように している。				
		e 代表者は、管理者や職員のストレスを軽減するための 工夫や環境づくりに取り組んでいる。	0	ストレスチェックを行い個別に職員と面談を行っている。	0	0	0	
		代表者及び全ての職員は、高齢者虐待防止法について 学び、虐待や不適切なケアに当たるのは具体的にどの ような行為なのかを理解している。	0	月に一回職員会議の後に高齢者虐待についての勉強会を行っている。どの様な行為が虐待にあたるのかを職員が理解できるよう努めている。				
40	<b>点往叶山の御</b> 序	b 管理者は、職員とともに日々のケアについて振り返ったり話し合ったりする機会や場をつくっている。	0	昼食や休憩を一緒にとり話し合ったりする時間を持つようにしている。				を を を を を 見した場合の対応方法や手順等について理解している。 職員は不適切
43	虐待防止の徹底	代表者及び全ての職員は、虐待や不適切なケアが見過 c ごされることがないよう注意を払い、これらの行為を発見 した場合の対応方法や手順について知っている。		職員同士お互いに気を付け注意し合っている。また、発見した場合の方法や手順は勉強会で勉強 している。				なケアが疑われる時は、互いに注意し合ったり、職員の交替を管理者に申 し出て、担当を交替するなど配慮した対応にも努めている。
		代表者、管理者は職員の疲労やストレスが利用者への d ケアに影響していないか日常的に注意を払い、点検して いる。	0	職員の心身の健康状態に気を付け日常的に注意している。				
	- 身体拘束をしない ケアの取り組み -	代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対 a 象となる具体的な行為」や「緊急やむを得ない場合」とは 何かについて正しく理解している。		他の業種から入社してきた職員などは正しく理解しているとはいえない場合もあり、勉強会を重ねることが重要である。				
44		どのようなことが身体拘束に当たるのか、利用者や現場 b の状況に照らし合わせて点検し、話し合う機会をつくっている。	Δ	どのようなことが身体拘束であるか、毎月の勉強会で学習中である。				***************************************
		家族等から拘束や施錠の要望があっても、その弊害に ついて説明し、事業所が身体拘束を行わないケアの取り組みや工夫の具体的内容を示し、話し合いを重ねながら理解を図っている。		御家族からの施錠の要望があっても行わないことを説明しており、理解を得られるように話し合い を行っている。				Andrew was now a server

項目 No. 評価項目	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
	а	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学び、それぞれの制度の違いや利点などを含め理解している。	0	毎年権利擁護や成年後見制度についての研修に参加して、利用者の成年後見に繋げている。すべての職員が詳しく理解しているわけではなく今後学習することが重要である。				
権利擁護に関する 制度の活用	b	利用者や家族の現状を踏まえて、それぞれの制度の違いや利点なども含め、パンフレット等で情報提供したり、 相談にのる等の支援を行っている。	0	管理者は本人と家族の現状を踏まえて、必要な場合は成年後見制度や権利擁護事業利用に繋げている。必要と思われすご家族には相談窓口をお教えしている。				
	С	支援が必要な利用者が制度を利用できるよう、地域包括支援センターや専門機関(社会福祉協議会、後見センター、司法書士等)との連携体制を築いている。	0	現在専門機関との連携を行い、新しく成年後見制度の利用に繋げたケースがある。				
	а	怪我、骨折、発作、のど詰まり、意識不明等利用者の急変や事故発生時に備えて対応マニュアルを作成し、周知している。	0	マニュアルを作成しており、職員が何時でも確認できるように各階に置いている。				**************************************
急変や事故発生時の	b	全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に 行い、実践力を身に付けている。	0	全ての職員が実践できるように応急手当職位対応の訓練を定期的に行っている。				The state of the s
46 備え・事故防止の 取り組み	С	事故が発生した場合の事故報告書はもとより、事故の 一歩手前の事例についてもヒヤリハットにまとめ、職員 間で検討するなど再発防止に努めている。	0	ヒヤリハットや事故報告書を作成している。職員間で共有し再発の防止に努めている。				7
	d	利用者一人ひとりの状態から考えられるリスクや危険に ついて検討し、事故防止に取り組んでいる。	0	利用者さんの個々のリスクを検討し、個別の取り組みを行っている。				Turnaman mananaman m
	а	苦情対応のマニュアルを作成し、職員はそれを理解し、 適宜対応方法について検討している。	0	マニュアルを作成している、苦情対応は職員を決めて苦情の相談を行っている。				deservation to the second seco
47 苦情への迅速な対応と 改善の取り組み		利用者や家族、地域等から苦情が寄せられた場合には、速やかに手順に沿って対応している。また、必要と 思われる場合には、市町にも相談・報告等している。	0	苦情があった場合には速やかに対応するようにしている。				
		苦情に対しての対策案を検討して速やかに回答するとと もに、サービス改善の経過や結果を伝え、納得を得なが ら前向きな話し合いと関係づくりを行っている。		答えや対応策を速やかに検討して回答し、納得を得ながら前向きに話し合いを行っている。				<del></del>
	а	利用者が意見や要望、苦情を伝えられる機会をつくっている。(法人・事業所の相談窓口、運営推進会議、個別に訊く機会等)		苦情相談窓口を重要事項説明書に明記し相談できるようにしている。日々利用者の話に耳を傾け 苦情が伝えられるように努力している。			0	
	b	家族等が意見や要望、苦情を伝えられる機会をつくっている。(法人・事業所の相談窓口、運営推進会議、家族会、個別に訊く機会等)	0	苦情相談窓口を重要事項説明書に明記し相談できるようにしている。	0		©	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -
48 運営に関する意見の反映	c	契約当初だけではなく、利用者・家族等が苦情や相談ができる公的な窓口の情報提供を適宜行っている。	0	各階にご意見箱を設置していつでも苦情が受け付けている。				族からは直接電話で意見や要望を聞くことが多い。管理者は職員と個別に面接を行い意見や提案を把握し、利用者本位の支援につながるよう検討している。
	d	代表者は、自ら現場に足を運ぶなどして職員の意見や 要望・提案等を直接聞く機会をつくっている。	0	朝礼時や昼休憩・おやつ休憩の時間に直接話を聞く機会を持っている。				
		管理者は、職員一人ひとりの意見や提案等を聴く機会を 持ち、ともに利用者本位の支援をしていくための運営に ついて検討している。		個別に面接を行い話を聞く機会を作っている。特に問題を抱えた場合には頻回に面接を行い問題 解決に協力している。			0	

項目 No. 評価項目	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
		代表者、管理者、職員は、サービス評価の意義や目的 を理解し、年1回以上全員で自己評価に取り組んでい る。	Δ	年1回サービス評価を実施している。在籍しているすべての職員が理解できているわけではなく対応にばらつきがみられる。				
	b	評価を通して事業所の現状や課題を明らかにするととも に、意識統一や学習の機会として活かしている。	0	評価をとおして課題を明らかにして学習の機会としている。				7 - - サービス評価の取組みについて、運営推進会議で報告はしているが、ほと
49 サービス評価の取り組み	С	評価(自己・外部・家族・地域)の結果を踏まえて実現可能な目標達成計画を作成し、その達成に向けて事業所全体で取り組んでいる。		実現可能と思われる目標を掲げて計画したが、継続がむつかしく今後は継続できるような計画を 作りたい。				んどの家族が参加していないため家族への報告ができていない。運営推進会議の記録は玄関に置いているが、見ている家族はいないのが現状で ある。家族に会議録を送付するなど、事業所の運営に関心を持ってもら
	d	評価結果と目標達成計画を市町、地域包括支援センター、運営推進会議メンバー、家族等に報告し、今後の取り組みのモニターをしてもらっている。	Δ	運営推進会議にて報告している。モニターは行ってもらうまでになっていない。	0	Δ	×	い、今後の取組みのモニターをしてもらうなどの検討に努めて欲しい。
	е	事業所内や運営推進会議等にて、目標達成計画に掲げ た取り組みの成果を確認している。	0	目標達成がどこまでできているかの確認を行っている。				7
	а	様々な災害の発生を想定した具体的な対応マニュアル を作成し、周知している。(火災、地震、津波、風水害、 原子力災害等)	0	マニュアルを作成して職員が確認できるようにしている。				
	b	作成したマニュアルに基づき、利用者が、安全かつ確実 に避難できるよう、さまざまな時間帯を想定した訓練を 計画して行っている。	0	年2回計画的に訓練を行っている。				7
50 災害への備え	d	消火設備や避難経路、保管している非常用食料・備品・ 物品類の点検等を定期的に行っている。	0	定期的に行っている。				7近くに消防署があるが、地域との合同訓練などはできていない現状である。物資の備蓄は3日分程度あり、家族の受入れも可能で、避難方法も想定しているが、家族に浸透しているか不明であるため、協力体制を含め確
	е	地域住民や消防署、近隣の他事業所等と日頃から連携を図り、合同の訓練や話し合う機会をつくるなど協力・支援体制を確保している。		地域住民や消防署との連携を行っているが共同訓練などはできていない。	×	0	×	一認が必要と思われる。今後は家族や地域住民等関係者にも協力を仰ぎながら、地域との合同訓練の開催を検討することが望まれる。
	f	災害時を想定した地域のネットワークづくりに参加したり、共同訓練を行うなど、地域の災害対策に取り組んでいる。(県・市町、自治会、消防、警察、医療機関、福祉施設、他事業所等)	Δ	洪水などの避難計画を作成し市役所に提出、地域のネットワークに参加できるように取り組んでいる。				7
	а	事業所は、日々積み上げている認知症ケアの実践力を活かして地域に向けて情報発信したり、啓発活動等に取り組んでいる。(広報活動、介護教室等の開催、認知症サポーター養成研修や地域の研修・集まり等での講師や実践報告等)	0	気演習などの講師や実践報告など啓発活動に取り組んでいる。				
		地域の高齢者や認知症の人、その家族等への相談支 援を行っている。	0	母体病院、併設の居宅介護支援事業所と協力しながら相談支援を行っている。		Δ	Δ	ー 相談実績としては事業所見学が多い現状であり、地域からの相談ニーズに 対応できているとは言い難いため、事業所のPRにも積極的に努めるなど
51 地域のケア拠点としての 機能		地域の人たちが集う場所として事業所を解放、活用している。(サロン・カフェ・イベント等交流の場、趣味活動の場、地域の集まりの場等)		グループホームの研修室を地域の方の趣味活動(今治市青年の家のお琴教室)の場として開放している。				の取組みに期待したい。管理者は介護支援専門員連絡協議会のメンバーで、看護学校での認知症講義を行うことや、市や地域包括支援センター等 関係機関と連携しながら、ボランティアの受入れやお琴教室の場所提供な
	d	介護人材やボランティアの養成など地域の人材育成や 研修事業等の実習の受け入れに協力している。	0	介護学生等実習の受け入れに協力している。				ァどの地域活動等に取り組んでいる。 -
	е	市町や地域包括支援センター、他の事業所、医療・福祉・教育等各関係機関との連携を密にし、地域活動を協働しながら行っている。(地域イベント、地域啓発、ボランティア活動等)		市町村・地域包括支援センター・他の事業所や医療機関・教育機関と連携しながら地域活動に参加している。			0	

(別表第1)

# サービス評価結果表

# サービス評価項目

(評価項目の構成)

- I.その人らしい暮らしを支える
  - (1)ケアマネジメント
  - (2)日々の支援
  - (3)生活環境づくり
  - (4) 健康を維持するための支援
- Ⅱ.家族との支え合い
- Ⅲ.地域との支え合い
- IV.より良い支援を行うための運営体制

ホップ 職員みんなで自己評価! ステップ 外部評価でブラッシュアップ!! ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

> ーサービス向上への3ステップー "愛媛県地域密着型サービス評価"

【外部評価実施評価機関】※評価機関記入

	A LANGE IN THE PART OF THE PAR											
評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会											
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8番15号											
訪問調查日	平成30年12月19日											

#### 【アンケート協力数】※評価機関記入

家族アンケート	(回答数)	16名	(依頼数)	18名
地域アンケート回答数			9名	

※事業所記入

事業所番号	3820200029									
事業所名	グループホーム はとり									
(ユニット名)	3階									
記入者(管理者) 氏 名	原文香									
自己評価作成日	2018年 12 月 30分 日									

(別表第1の2)

,		
[事業所理念]	[前回の目標達成計画で取り組んだこと・その結果] #1 運営推進会議を行事やミーティングと統合して、行委や会議に追われな	【今回、外部評価で確認した事業所の特徴】
楽しく 健やかに 自分らしく暮ら	い余裕を持った運営を計画したが。やはり行事などに追われ達成できていない。 #2緊急な場合以外の連絡をメールで行う計画もし	開設13年目を迎える事業所は、住宅街に立地し母体病院と隣接している。24時間対応の
す	たが、メールでのやり取りは行っていない。 #3介護計画を毎日職員ができたできないで判定して記入し結果を数字化して記録する。 温	緊急医療体制が構築されており、利用者や家族にとって心強い環境である。利用者一人ひ
		とりの好みに応じながら、シャンプーや洗濯用洗剤等を個別に管理し使用するなど、利用者
		本位の支援に取り組もうとする職員の意識の高さが窺える。「楽しく 健やかに 自分らしく暮
		らす」を事業所理念に掲げ、利用者が安心して平穏に暮らせるよう日々支援に努めている。
		りず」と事未が生心に同じ、利用省が支心して干傷に各りともありは、又派に刃のている。

# 評価 結果表

項目 No.	評価項目	小項日	内 容	自己 評価 判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと			
I .3	I .その人らしい暮らしを支える										
(1)	1)ケアマネジメント										
		а	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把 握に努めている。	1人1人、利用者さんの思いや暮らし方の希望を聞き把握している。 〇	0		0				
		b	把握が困難な場合や不確かな場合は、「本人はどうか」 という視点で検討している。	常に「本人にとってはどうか」という視点でカンファレンスを行っている。							
1	思いや暮らし方の希望、 意向の把握	С	職員だけでなく、本人をよく知る人(家族・親戚・友人等) とともに、「本人の思い」について話し合っている。	ご家族の来所時に聞き取りを行い、本人の想いについて話し合っている。 〇	/			入居時や家族来訪時に話を聞いたり、利用者との日々の会話の中から思 いや暮らしの意向の把握に努めている。			
		d	本人の暮らし方への思いを整理し、共有化するための 記録をしている。	利用者さんによりできている方とできていない方がある。 <u>Δ</u>	/						
		е	職員の思い込みや決めつけにより、本人の思いを見落 とさないように留意している。	意思疎通のむつかしい方にも、必ずご本人の意向を確かめ小さなサインも見落とさないように援 の 助している。	/						
		а	利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、こだわりや大切にしてきたこと、生活環境、これまでのサービス利用の経過等、本人や本人をよく知る人(家族・親戚・友人等)から聞いている。	<u>ا</u>			0				
		b	利用者一人ひとりの心身の状態や有する力(わかること・できること・できそうなこと等)等の現状の把握に努めている。	計画時にアセスメントを行い現状の把握を行っている。							
2	これまでの暮らしや 現状の把握	С	本人がどのような場所や場面で安心したり、不安になったり、不安定になったりするかを把握している。	ー緒に生活する中で本人の言動を観察し、理解するように努めている。 〇 〇 /	/			利用者や家族からの聞き取りや、居宅介護支援事業所からのフェイスシートなどにより、これまでの暮らしや現状の把握に努めている。			
		d	不安や不安定になっている要因が何かについて、把握 に努めている。(身体面・精神面・生活環境・職員のかか わり等)		/						
		е	利用者一人ひとりの一日の過ごし方や24時間の生活の流れ・リズム等、日々の変化や違いについて把握している。		/						
		а	把握した情報をもとに、本人が何を求め必要としている のかを本人の視点で検討している。	意思疎通の困難な方もいるが、常に本人にとってどうかという視点で対応するように努めている O			0				
3	チームで行うアセスメント (※チームとは、職員のみならず本人・家族・本人を	b	本人がより良く暮らすために必要な支援とは何かを検討 している。		/			把握した情報は日誌や申し送りノートで共有し、家族との連絡ノートも活用 しながら、常に利用者にとってどうかという視点で検討している。			
	よく知る関係者等を含む)	С	検討した内容に基づき、本人がより良く暮らすための課 題を明らかにしている。	カンファレンスにおいて検討し、ご本人の課題とできていることが何かを明らかにしている。	/						

頁目 No. 評価項目	小項日	内容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域評価	外部評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
	а	本人の思いや意向、暮らし方が反映された内容になっている。	0	ケアプランに本人の意思を取り入れるようにしている。				
チームでつくる本人が 4 より良く暮らすための		本人がより良く暮らすための課題や日々のケアのあり方について、本人、家族等、その他関係者等と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映して作成している。	0	意思の疎通が困難な方もいるが、ご家族や職員間で話し合いを持ちケアプランを作成している。	0		0	日々の会話の中から利用者の意向を聞き取ったり、来訪時や電話連絡時 に家族に希望を確認し、カンファレンスで話し合った上で、計画作成担当者
介護計画	С	重度の利用者に対しても、その人が慣れ親しんだ暮らし 方や日々の過ごし方ができる内容となっている。	Δ	寝れ親しんだ生活ができるように, 計画作成時に心がけているが、重度化の様々な要因によりで きないことも多い。				アがそれぞれの意見やアイデアを反映して作成している。
	d	本人の支え手として家族等や地域の人たちとの協力体 制等が盛り込まれた内容になっている。	Δ	御家族や地域の方との協力を盛り込みたいが、個別にはむつかしいことがある。				7
	а	利用者一人ひとりの介護計画の内容を把握・理解し、職 員間で共有している。	Δ	担当制にしており、月1回評価するようにして、職員間で共有できるようにしている。			0	<ul><li>利用者一人ひとりの介護計画の内容は、カンファレンスで共有するようにし</li></ul>
_ 介護計画に基づいた		介護計画にそってケアが実践できたか、その結果どう だったかを記録して職員間で状況確認を行うとともに、 日々の支援につなげている。	0	月1回評価を行っている。できていない計画は実践できるように日々の支援に繋げている。			Δ	- 利用有一人ひとりの介護計画の内容は、カンファレンスで共有するように ている。毎月担当職員が評価し計画作成担当者が総括するようにしている が、日々の実践記録の内容が不十分で職員は理解しにくくケアに活かせて いないため、誰が見てもわかりやすいよう記録し日々の支援につなげて欲
り日々の支援		利用者一人ひとりの日々の暮らしの様子(言葉・表情・しぐさ・行動・身体状況・エピソード等)や支援した具体的内容を個別に記録している。	Δ	記録が行ったことの記録になってしまい、あまり本人が言った言葉などを記録に残せていない。			Δ	しい。介護記録に関して管理者は、「その人の生活が見えるものにしたい」 との思いがあるが、利用者の様子等の記録が不十分であり、日頃の表情 やしぐさ、職員の気づきやアイデアなどを職員全員で共有できるよう記録で
	a	利用者一人ひとりについて、職員の気づきや工夫、アイ デア等を個別に記録している。	Δ	評価表に気づきなどを個別に記入している。			Δ	ーることが望まれる。
	а	介護計画の期間に応じて見直しを行っている。	0	3か月に1回定期的に見直しを行っている、また、身体状況により変更も行っている。			0	
現状に即した 6 介護計画の見直し	b	新たな要望や変化がみられない場合も、月1回程度は現 状確認を行っている。	0	毎月評価表を記入し、現状の確認を行っている。			0	一介護計画は3か月に1回見直しており、見落とさないように一覧表を作成している。新たな要望や変化がない場合も月1回は現状確認を行い、状態に変化があった場合には見直すよう関係者と話し合い、現状に合った介護計
)	С	本人の心身状態や暮らしの状態に変化が生じた場合は、随時本人、家族等、その他関係者等と見直しを行い、現状に即した新たな計画を作成している。	0	現状の計画に本人の状態が合わなくなった場合見直しを行っている。			0	画を作成している。
	а	チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、定期的、あるいは緊急案件がある場合にはその都度会議を開催している。	0	定期的にカンファレンスを行い、緊急案件の場合は緊急にカンファレンスを行っている。			0	
7 チームケアのための会議		会議は、お互いの情報や気づき、考え方や気持ちを率 直に話し合い、活発な意見交換ができるよう雰囲気や場 づくりを工夫している。	0	参加者全員が意見を言えるようにしている。				7 月1回ミーティングで話し合い、緊急案件がある場合にはその都度話し合 機会を設けている。会議に参加できない職員は、会議録を確認することで 7 共有している。
		会議は、全ての職員を参加対象とし、可能な限り多くの 職員が参加できるよう開催日時や場所等、工夫してい る。	0	平日の日中の時間に行い、できるだけ多くの人が参加できるようにしている。				
	d	参加できない職員がいた場合には、話し合われた内容 を正確に伝えるしくみをつくっている。		議事録を作成し、参加していなかった人も会議の内容が確認できるよう、議事録を各ホームに置し ている。			0	
		職員間で情報伝達すべき内容と方法について具体的に 検討し、共有できるしくみをつくっている。	0	朝夕に申し送りを行い、伝達内容は日誌に記入している。			0	日々の申し送りノートや日誌は各自が確認するようにしており、ミーティンク 
8 確実な申し送り、情報伝達	Ε b σ	日々の申し送りや情報伝達を行い、重要な情報は全て の職員に伝わるようにしている。(利用者の様子・支援に 関する情報・家族とのやり取り・業務連絡等)	0	業務日誌に記入し共有できるようにしている。特に伝達が必要な事案は日誌にお知らせをファイル し伝達できるよう工夫している。	, (a)			ア記録は確認可やサイフをして共有している。医療的グアや楽の変更などに 関しては、全ユニットの利用者の状況が伝わるよう申し送りに努め、職員全 員で共有するようにしている。

項目 No.	県グループホームはとり 評価項目	小項日	内 容	自己評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域評価	外部評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
(2)	日々の支援								·
		а	利用者一人ひとりの「その日したいこと」を把握し、それ を叶える努力を行っている。	0	散歩や買い物の希望があれば、実施できるようにしている。				
		b	利用者が日々の暮らしの様々な場面で自己決定する機会や場をつくっている。(選んでもらう機会や場をつくる、選ぶのを待っている等)		意思疎通のむつかしい方もいるが、衣類の選択等具体的なことは、利用者の能力に合わせて行っている。			0	
		С	利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた支援を行うなど、本人が自分で決めたり、納得しながら暮らせるよう支援している。	0	1人1人に合わせて説明し、本人が納得して生活できるように心がけている。				着替えの衣服や外出先、おやつや飲み物など利用者に選択してもらってい
9	利用者一人ひとりの思い、 意向を大切にした支援	d	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースや習慣を大切にした支援を行っている。(起床・就寝、食事・排泄・入浴等の時間やタイミング・長さ等)	0	起床や就寝等本人のペースに合わせてできるように支援している。				7る。服装のバランスが悪い場合は、アドバイスもするようにしている。職員 は利用者に喜んでもらえるよう声かけ等に工夫するなど、雰囲気づくりに努 めている。
		е	利用者の活き活きした言動や表情(喜び・楽しみ・うるおい等)を引き出す言葉がけや雰囲気づくりをしている。	0	利用者が、話ができる雰囲気つくりを行っている。			0	
			意思疎通が困難で、本人の思いや意向がつかめない場合でも、表情や全身での反応を注意深くキャッチしながら、本人の意向にそった暮らし方ができるよう支援している。	0	利用者の表情や発する言葉など反応注意し、本人の想いに沿えるよう援助している。				
			職員は、「人権」や「尊厳」とは何かを学び、利用者の誇 りやプライバシーを大切にした言葉かけや態度等につい て、常に意識して行動している。		内部、外部の勉強会に参加し、プライバシーの保護に努めている。	©	0	0	
	ー人ひとりの誇りや プライバシーを尊重した 関わり		職員は、利用者一人ひとりに対して敬意を払い、人前であからさまな介護や誘導の声かけをしないよう配慮しており、目立たずさりげない言葉がけや対応を行っている。		声かけにおいてもその方法によっては虐待になることを心に置き、配慮した声掛けができるように 努力している。			0	毎月のミーティング後、利用者の誇りやプライバシーを尊重するよう話し合 う機会を設けるなどケアの意識の共有に努めている。利用者を人生の先輩
10		С	職員は、排泄時や入浴時には、不安や羞恥心、プライバシー等に配慮ながら介助を行っている。	0					として尊重し、声かけもさりげなく丁寧に行っている様子を窺うことができた。居室への出入りの際はプライバシーに配慮し、ノックや声かけをし利用 者の許可を得るようにしている。
		d	職員は、居室は利用者専有の場所であり、プライバシーの場所であることを理解し、居室への出入りなど十分配慮しながら行っている。		ドアをノックしたり声かけを行ってから居室へ出入りするなど配慮を行っている。			0	
			職員は、利用者のプライバシーの保護や個人情報漏え い防止等について理解し、遵守している。	0	マニュアルを作成し、全職員に周知している。				
		а	職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、利 用者に助けてもらったり教えてもらったり、互いに感謝し 合うなどの関係性を築いている。	0	洗濯たたみなどのできることを行ってもらい、神棚の祭り方など職員のわからない知識を教えてもらったりして、関係を築いている。				
		b	職員は、利用者同士がともに助け合い、支え合って暮ら していくことの大切さを理解している。	0	利用者間で助け合ったり、コミュニケーションをとったりする場面がある。見守りを行いながら支え ていけるよう支援している。				である。 職員は利用者同士の関係を把握しており、トラブルになりそうな時は、職員
	ともに過ごし、 支え合う関係	С	職員は、利用者同士の関係を把握し、トラブルになったり孤立したりしないよう、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。(仲の良い利用者同士が過ごせる配慮をする、孤立しがちな利用者が交わえる機会を作る、世話役の利用者にうまく力を発揮してもらう場面をつくる等)。		トラブル時には仲裁に入るようにしている。利用者間の関わりを把握し、食事時の席順やソファーでの着席に注意し、全利用者が交流できるように支援している。			0	が話題を変えたり席を変更するなど、さりげなく関わるようにしている。職員は利用者が孤立することがないよう見守っているが、お互いを気にかけ声をかけ合うなど、利用者同士は良好な関係が築けており職員は心強く感じている。
			利用者同士のトラブルに対して、必要な場合にはその解消に努め、当事者や他の利用者に不安や支障を生じさせないようにしている。		職員が利用者間の関係を把握し、見守りを行って、トラブルに発展する前に援助している。				

項目 No.	評価項目	小項目	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
		а	これまで支えてくれたり、支えてきた人など、本人を取り 巻く人間関係について把握している。	Δ	利用者本人が忘れていたり、核家族でご家族も把握していなかったりするため、十分に把握ができていない。				
		d l	利用者一人ひとりがこれまで培ってきた地域との関係や 馴染みの場所などについて把握している。	Δ	入所前のなじみのお話を聞くことがあっても、十分に把握できていない。				
12	馴染みの人や場との関係 継続の支援	С	知人や友人等に会いに行ったり、馴染みの場所に出かけていくなど本人がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう支援している。		なじみの場所に出かけることがあまりできていない、入所期間が長くなるとなじみの方の訪問も少なくなっている。				T
		d	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。		知人や家族が気軽に訪れることができるよう暖かな場所作りを行っている。				7 
		а	利用者が、1日中ホームの中で過ごすことがないよう、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう取り組んでいる。(職員側の都合を優先したり、外出する利用者、時間帯、行き先などが固定化していない)(※重度の場合は、戸外に出て過ごすことも含む)		近くのコンビニに買い物に行ったり、周辺の散歩には出かけるが、利用者さんの都合に合わせた 外出はできていないことが多い。	0	0	Δ	重度の利用者も含め、近くの公園や神社に散歩等に出かけているが、要望
13	日常的な外出支援	b	地域の人やボランティア、認知症サポーター等の協力も 得ながら、外出支援をすすめている。	Δ	ボランティアの協力はあまり得られていない。				た応じているのは、2週間に1回近くのコンビニへ買い物に行く程度で物足りなさを感じるため、利用者が少しでも外の空気を吸い気分転換が図れる
		С	重度の利用者も戸外で気持ち良く過ごせるよう取り組ん でいる。	Δ	毎日ではないが散歩に出かけるように心がけている。			Δ	<b>/</b> :
		d	本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら、普段は行けないような場所でも出かけられるように 支援している。	Δ	家族と外出する利用者もいるが本人の希望の外出支援はできていない。				7
		а	職員は認知症や行動・心理症状について正しく理解しており、一人ひとりの利用者の状態の変化や症状を引き起こす要因をひもとき、取り除くケアを行っている。	0	利用者一人一人に個別に対応できるように支援している〇				
14	心身機能の維持、 向上を図る取り組み	b	認知症の人の身体面の機能低下の特徴(筋力低下・平 衡感覚の悪化・排泄機能の低下・体温調整機能の低下・ 嚥下機能の低下等)を理解し、日常生活を営む中で自 然に維持・向上が図れるよう取り組んでいる。	0	日常的にできる体操を取り入れている。個々に合わせた足や手のリハビリを行っている。				7 入浴時の脱衣と着衣は、時間がかかっても自分で行ってもらうよう支援している。食事介助も自分でできる部分は、手を出さず見守るようにしている。
			利用者の「できること、できそうなこと」については、手や 口を極力出さずに見守ったり一緒に行うようにしている。 (場面づくり、環境づくり等)	0	日常的に利用者のできることはお願いし、本人が行えるよう支援している。	©		0	
		а	利用者一人ひとりの生活歴、習慣、希望、有する力等を 踏まえて、何が本人の楽しみごとや役割、出番になるの かを把握している。	0	生活歴や希望などを把握しレクレーションや家事手伝いなど役割を持ってもらえるようにしている。				
15	役割、楽しみごと、 気晴らしの支援	b	認知症や障害のレベルが進んでも、張り合いや喜びの ある日々を過ごせるように、日常的に、一人ひとりの楽し みごとや役割、出番をつくる取り組みを行っている。		洗濯ものたたみや、お茶の葉入れなど、利用者のできることを取り入れている。	0	0	0	洗濯物たたみや新聞の読み聞かせ、習字の指導や昼食メニューの書き出しなど、利用者一人ひとりの得意なことを役割として力が発揮できるように努めている。
	c	±	地域の中で役割や出番、楽しみ、張り合いが持てるよう 支援している。	Δ	地域の行事に出ていけることが少ない。				7

項目 評価項目	小   項   日		内容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
	а		身だしなみを本人の個性、自己表現の一つととらえ、そ の人らしい身だしなみやおしゃれについて把握してい る。	0	重ね着などしてしまう方もいるが、その人らしい服装になるように援助している。				
	b	<b>开</b>	可用者一人ひとりの個性、希望、生活歴等に応じて、髪 りや服装、持ち物など本人の好みで整えられるように支 爰している。		以前より使用している衣類等を持ってきてもらい、本人の好みに沿えるようにしている。				7
	С		自己決定がしにくい利用者には、職員が一緒に考えたり アドバイスする等本人の気持ちにそって支援している。	0	本人と一緒に、本人が着たい洋服を着ることができるよう支援している。				7 - 髪や服装の乱れは、さりげなく居室で整えるようにしている。重度の利用者
9だしなみや おしゃれの支援	d		ト出や年中行事等、生活の彩りにあわせたその人らし い服装を楽しめるよう支援している。	0	行事や外出に合わせた服装ができるよう、声掛け、アドバイスなど援助を行っている。				7 も含め、好みの服装や髪型に整えるなど、その人らしさが保てるよう支援に 努めている。
	е	<i>t</i>	と容の乱れ、汚れ等に対し、プライドを大切にしてさりげなかが一している。(髭、着衣、履き物、食べこぼし、口の周囲等)	0	衣類の交換、着替えの援助など行い、汚れ落としなど速やかに行っている。	0	0	0	
	f	理	里容·美容は本人の望む店に行けるように努めている。	0	家族対応の方は自分の行きつけの理美容院を利用し、ホームでは、理容室、美容室が定期的に来所しどちらか好きなほうで理美容を行うようにしている。				7
	g		重度な状態であっても、髪形や服装等本人らしさが保て る工夫や支援を行っている。	0	重度の方にも髪型や衣類など本人らしくできるように支援している。			0	
	а		競員は、食事の一連のプロセスの意味や大切さを理解 している。	0	食事の一連のプロセスの意味の大切さを理解している。				
	b	買用	買い物や献立づくり、食材選び、調理、後片付け等、利 用者とともに行っている。	Δ	調理以前のお茶の葉入れや、イリコのはらわたとりなどは行っているが。食材選び、調理片付けな どほとんど行えない。			0	
	С	Z	可用者とともに買い物、調理、盛り付け、後片付けをする等を行うことで、利用者の力の発揮、自信、達成感に つなげている。	×	代ふきなど簡単なことはしてもらっているが、ほぼ職員が行っている。				
	d		il用者一人ひとりの好きなものや苦手なもの、アレル ドーの有無などについて把握している。	0	入居時に本人や家族からアレルギーの有無や苦手なものを確認して行っている。				
	f	기	献立づくりの際には、利用者の好みや苦手なもの、アレレギー等を踏まえつつ、季節感を感じさせる旬の食材や、利用者にとって昔なつかしいもの等を取り入れている。	0	アレルギーのある方には代替品を用意して、旬の食材を使うように努力している。			0	
		塀そ	可用者一人ひとりの咀嚼・嚥下等の身体機能や便秘・下 前等の健康状態にあわせた調理方法としつつ、おいし そうな盛り付けの工夫をしている。(安易にミキサー食や 別み食で対応しない、いろどりや器の工夫等)		利用者の状態に合わせた食事を提供するようにしている、副食も柔らかくなるように対応し、どうしても仕方のない時のみ刻み食にしている。				/ 買い物や食材選び、調理などは職員が行っており、座ってできる下ごしらえなどを手伝ってもらっている。アレルギーのある利用者には個別に代替品 を用意し、旬の食材を使い季節感のある食事の提供を心がけている。茶碗
   <sub>17</sub>  食事を楽しむことの	g		を碗や湯飲み、箸等は使い慣れたもの、使いやすいも Dを使用している。	0	入居時に自宅にあるものを持ってきていただくようにしている。			0	や湯飲み、箸等は自宅から持参してもらい、割れた時などは誕生日プレゼ ントとして自分で選んでもらうなど、使いやすいものが使用できるようにして
│	h	t) O	競員も利用者と同じ食卓を囲んで食事を一緒に食べな がら一人ひとりの様子を見守り、食事のペースや食べ方 D混乱、食べこぼしなどに対するサポートをさりげなく テっている。		職員も一緒に食事をしながらさりげないサポートを心掛けている。			<b>Ø</b>	「いる。職員も同じテーブルで食事をしながらさりげないサポートを行っており、家庭的な雰囲気の中食事をしていた。リビングに面したキッチンでの調理は、重度の利用者も調理の音や匂いを感じることができる。献立は利用 _ 者の希望を取り入れて給食委員がつくるほか、バランスの良い栄養が摂れ
	i	通	を重度な状態であっても、調理の音やにおい、会話などを 通して利用者が食事が待ち遠しくおいしく味わえるよう、 雰囲気づくりや調理に配慮している。		食事中の声掛けや、バックグラウンドミュージックを流し、雰囲気つくりに配慮している。	0		0	るよう職員間で話し合っている。
	j	芽	利用者一人ひとりの状態や習慣に応じて食べれる量や 栄養バランス、カロリー、水分摂取量が1日を通じて確保 できるようにしている。		食事摂取量など記入し、食事量水分量が確保できるようにしている。				7
	k	15	食事量が少なかったり、水分摂取量の少ない利用者に は、食事の形態や飲み物の工夫、回数やタイミング等工 とし、低栄養や脱水にならないよう取り組んでいる。		食事量が減少して、十分な栄養が取れない時には。回数やタイミング食事の形状などに注意して 援助を行い、それでもない食べられない場合栄養補助食を利用している。				7
	ı	15	戦員で献立のバランス、調理方法などについて定期的 に話し合い、偏りがないように配慮している。場合によっ には、栄養士のアドバイスを受けている。		献立は食委員が立てるが、職員会議や申し送り時に話し合いを行っている。			0	
	m	씥	食中毒などの予防のために調理用具や食材等の衛生 管理を日常的に行い、安全で新鮮な食材の使用と管理 こ努めている。		食材は毎日行新鮮なものを業者さんから購入している。調理用具は、ふきん、まな板などは塩素 消毒食器は食洗器にかけ衛生管理に努めている。				7

項目 No.	県グループホームはとり 評価項目	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	成 外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
		а	職員は、口腔ケアが誤嚥性肺炎の防止につながること を知っており、口腔ケアの必要性、重要性を理解してい る。	0	訪問歯科医や歯科衛生士から情報を得て毎食後の口腔ケアを行っている。				
		b	利用者一人ひとりの口の中の健康状況(虫歯の有無、 義歯の状態、舌の状態等)について把握している。	0	毎月1回歯科医の訪問診療を受けており、口腔内の状態を把握している。			0	
		С	歯科医や歯科衛生士等から、口腔ケアの正しい方法に ついて学び、日常の支援に活かしている。	0	訪問歯科医、歯科衛生士の助言を受け日常の支援に生かしている。				プ 利用者の口腔内の状況を把握し、清潔が保てるよう支援に努めている。月
18	口腔内の清潔保持	d	義歯の手入れを適切に行えるよう支援している。	0	歯科衛生士の指導を受け、義歯の手入れを行っている。				フ1回歯科医の訪問診療があり、利用者全員が受診し口腔内の健康を維持 している。
		е	利用者の力を引き出しながら、口の中の汚れや臭いが生じないよう、口腔の清潔を日常的に支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェック等)	0	できるだけ本人に行ってもらい、できない部分のみ介助している。その後職員が確認する。			0	
		f	虫歯、歯ぐきの腫れ、義歯の不具合等の状態をそのま まにせず、歯科医に受診するなどの対応を行っている。	0	不具合を発見したらすぐの往診予約をしてできるだけ速やかに対応している。				7
		а	職員は、排泄の自立が生きる意欲や自信の回復、身体機能を高めることにつながることや、おむつ(紙パンツ・パッドを含む)の使用が利用者の心身に与えるダメージについて理解している。		排泄の自立が身体機能を高めることやおむつが利用者の心身に与えるダメージについて理解している。利用者の現状に合わせて適切なパンツ。おむつを利用している。				
		b	職員は、便秘の原因や及ぼす影響について理解している。		利用者個々の便秘の原因は、すべての職員の理解は得られていないが、看護職が毎日排便確認 便の形状確認を行い適切な対応をしている。				7
		С	本人の排泄の習慣やパターンを把握している。(間隔、量、排尿・排便の兆候等)	0	排泄チェック表で排泄記録をつけ排泄パターンを把握している。				7
		d	本人がトイレで用を足すことを基本として、おむつ(紙パンツ・パッドを含む)使用の必要性や適切性について常に見直し、一人ひとりのその時々の状態にあった支援を行っている。		できる限りトイレでの排せつができるように支援しているが、はくパンツについて布パンツへの見直 しはできていない。	0		$\Big  \circ$	
19	排泄の自立支援	е	排泄を困難にしている要因や誘因を探り、少しでも改善できる点はないか検討しながら改善に向けた取り組みを 行っている。		トイレでの排せつが失敗なく行えるよう検討を行っている。				<ul><li>✓</li><li>重度の利用者も含め、できる限りトイレでの排泄を基本に支援している。お</li><li>」むつ等の必要性について職員間で話し合い、利用者一人ひとりの状態に</li></ul>
		f	排泄の失敗を防ぐため、個々のパターンや兆候に合わせて早めの声かけや誘導を行っている。	0	本人の訴えや早めの声掛けにて誘導を行っている。				/ 合わせた支援に努めている。
		g	おむつ(紙パンツ・パッドを含む)を使用する場合は、職員が一方的に選択するのではなく、どういう時間帯にどのようなものを使用するか等について本人や家族と話し合い、本人の好みや自分で使えるものを選択できるよう支援している。	0	利用者家族と話し合い、より良く使用できるようにしている。				
		h	利用者一人ひとりの状態に合わせて下着やおむつ(紙 パンツ・パッドを含む)を適時使い分けている。	Δ	パットは随身使い分けている。			1/	
			飲食物の工夫や運動への働きかけなど、個々の状態に 応じて便秘予防や自然排便を促す取り組みを行ってい る。(薬に頼らない取り組み)	Δ	水分や側部つ繊維を多くとれるように使い分けている。				
			曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、利用 者一人ひとりの希望や習慣にそって入浴できるよう支援 している。(時間帯、長さ、回数、温度等)。		個別の入浴曜日は取り決めているができるかぎり本人の希望に沿うように努力している。	©		0	
		b	一人ひとりが、くつろいだ気分で入浴できるよう支援して いる。	0	個別で入浴できるようにし、ゆっくり入浴時間が取れるよう援助している。				7
20	入浴を楽しむことが できる支援	С	本人の力を活かしながら、安心して入浴できるよう支援 している。	0	本人のできる状態に合わせてできない部分のみ援助している。				✓ 入浴日や時間帯は決まっているが、利用者からの要望に応じるなど柔軟な対応にも努めている。
		d	入浴を拒む人に対しては、その原因や理由を理解しており、無理強いせずに気持ち良く入浴できるよう工夫している。	0	入浴拒否をする場合は時間や曜日を変更したりして無理強いすることなく、本人の気持ちに沿っっ て入浴ができるよう援助している。				
		е	入浴前には、その日の健康状態を確認し、入浴の可否 を見極めるとともに、入浴後の状態も確認している。	0	入浴前にバイタル確認と本人に体調確認を行っている、入浴後も観察を行っている。				
					22				<b>社会福祉法人悉撰</b> 具社会福祉協議会

項目	県グループホームはとり 評価項目	小項	内 容 自己		家族	地域評価	外部	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
No.		目	計1四	1人1人の睡眠パターンを把握している。	評価	i 評価	評価	大地がんの唯心及び人のハナノノに同じて対けてにいこと
		а	利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握している。	TO TO THE PORT OF				
		b	夜眠れない利用者についてはその原因を探り、その人本来のリズムを取り戻せるよう1日の生活リズムを整え 〇 る工夫や取り組みを行っている。	その人に合わせた生活リズムの工夫を行っている。				7
21	安眠や休息の支援	С	世 時	昼夜の状態を見ながら睡眠導入剤などの使用の有無を、主治医と相談している。じゃ看眠らない 場合でも眠剤など使用しない場合も多い。			0	- 日中に運動やリハビリ体操、散歩等活動してもらい夜間安眠できるよう支援するなど、安易に睡眠導入剤に頼らない支援に努めている。
		d	体息や昼後等、心身を体める場面が個別に取れるよう 取り組んでいる。	個別に、本人の状態に合わせた休息時間が取れるよう炎上している。				7
		а	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり 取りができるように支援をしている。	携帯電話を持参している方もおり、電話も職員が援助を行い希望の親族にかけることができる。				**************************************
		b	本人が手紙が書けない、電話はかけられないと決めつけず、促したり、必要な手助けをする等の支援を行っている。	本人の希望があれば援助を行っている。				
22	電話や手紙の支援	С	気兼ねなく電話できるよう配慮している。	携帯電話で居室で自由に話をしてもらっている。				
		d	届いた手紙や集書をそのままにせり首信がとれるように 工夫している。	届いたものは必ず本人に渡して、読み聞かせるなど援助をしている。後日ご家族にも手紙やはが きが届いた旨を伝える。				
		е	本人が電話をかりることについて家族等に生産、協力をしてもらうとともに、家族等からも電話や手紙をくれるよう 〇お願いしている。	入居時に御家族に協力依頼をしている。				
		а		ご本人にとって、大切なことであることを理解している。				
		b	必要物品や好みの負い物に出かり、お並の所持や使う 機会を日常的につくっている。	日常的ではないが本人が希望した時には行けるようにしている。				
			利用者が気兼ねなく安心して買い物ができるよう、日頃から買い物先の理解や協力を得る働きかけを行っている。	近くのコンビニで協力を得るように働きかけ、コンビニもとても強力的に対応してくれている。				/
	お金の所持や 使うことの支援	d	「希望がないから」「混乱するから」「失くすから」などと一方的に決めてしまうのではなく、家族と相談しながら一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族や本人を含め、お金の所持やお金を使う支援を行っている。				
		е	お金の所持方法や使い方について、本人や家族と話し 合っている。	本人、家族、職員も交えて話し合っている。				
		f	法や家族への報告の方法などルールを明確にしており、本人・家族等の同意を得ている。(預り金規程、出納帳の確認等)。	本人や家族の同意を得て、事務所に預けているが、本人が持っていることもある。				/
24	多様なニーズに 応える取り組み		本人や家族の状況、その時々のニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの 〇 多機能化に取り組んでいる。	週に何度もご家族が長時間来る方や特別な場合の高受診の対応などを行っている。	©		0	家族が対応できない急な病院受診等に職員が付き添うなど、柔軟なサーヒス提供に努めている。

項目 No.	県クルーフホームはとり 評価項目	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族評価	地域評価	外部評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
(3) 4	上活環境づくり								
25	気軽に入れる 玄関まわり等の配慮		利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、気軽 に出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をして いる。	Ο	一般家庭に様な作りで、入りやすいつくりになっている。	0	0	0	玄関まわりは同じ道路に面した一般の住宅のようで、玄関内は飾り付けの ないシンプルな設えであり、一般家庭のように気軽に入れる家庭的な雰囲 気になっている。
		а	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、家庭的な雰囲気を有しており、調度や設備、物品や装飾も家庭的で、住まいとしての心地良さがある。 (天井や壁に子供向けの飾りつけをしていたり、必要なものしか置いていない殺風景な共用空間等、家庭的な雰囲気をそぐような設えになっていないか等。)	Ο	季節感を出すために壁に飾り付けをしているが、雑多にならないように心がけている。	0	0	0	
	民心地の白い	b	利用者にとって不快な音や光、臭いがないように配慮 し、掃除も行き届いている。	0	毎日清掃を行い、ほこりや、臭気に気を付けて環境を整備している。			0	キッチンやリビングを囲むように居室を配置しており、事業所建物の中心に 利用者が集まりくつろいでいる。生活感がある中にも、整理整頓と掃除が
26	居心地の良い 共用空間づくり	С	心地よさや能動的な言動を引き出すために、五感に働きかける様々な刺激(生活感や季節感を感じるもの)を生活空間の中に採り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。		食事つくりの音や臭い、風を感じることのできるに工夫している。			<b>o</b>	行き届いている。クリスマスに向けてツリーや壁飾り等でカウントダウンを 演出するなど、季節感も感じられる。
			気の合う利用者同士で思い思いに過ごせたり、人の気 配を感じながらも独りになれる居場所の工夫をしてい る。	0	中心に居間がありそれを取り囲むように居室があり、他の人の気配を感じながら				
		е	トイレや浴室の内部が共用空間から直接見えないよう工夫している。	0	共用部分から見えない配置になっている。				
27	居心地良く過ごせる 居室の配慮		本人や家族等と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている。	Ο	入居時にお話しして、使い慣れたものを持ってきていただいている。	0		0	利用者の馴染みのある家具や思い出の写真など大切なものに囲まれ、居 心地良く過ごせる空間になっている。
		а	建物内部は利用者一人ひとりの「できること」や「わかる こと」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送 れるように配慮や工夫をしている。	Ο	利用者ができることは職員が手出しせず、見守ることで利用者のできることを発揮することができ るように配慮している。			0	
28	一人ひとりの力が 活かせる環境づくり	b	不安や混乱、失敗を招くような環境や物品について検討 し、利用者の認識間違いや判断ミスを最小にする工夫を している。	0	安心して生活ができる品物を家族¥に依頼して、利用者の不安を取り除くようにしている。				/ トイレなどの位置が利用者に分かりやすく表示されているほか、キッチンからは2か所の出入口とトイレも見渡せ、職員が見守る中自立した生活が送っれるよう支援している。
		С	利用者の活動意欲を触発する馴染みの物品が、いつでも手に取れるように生活空間の中にさりげなく置かれている。(ほうき、裁縫道具、大工道具、園芸用品、趣味の品、新聞・雑誌、ポット、急須・湯飲み・お茶の道具等)		新聞や雑誌は、教養空間に置いている。個別の趣味の品物は居室に置いており、編み物をする人もいる。				710067X1&0 CV 0.
		а	代表者及び全ての職員が、居室や日中にユニット(棟)の出入り口、玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。(鍵をかけられ出られない状態で暮らしていることの異常性、利用者にもたらす心理的不安や閉塞感・あきらめ・気力の喪失、家族や地域の人にもたらす印象のデメリット等)		出入り口に鍵をかけることにより不穏になることを理解している。入社時や定期的に職員に話している。	0	0	0	
29	鍵をかけない ケアの取り組み	b	鍵をかけない自由な暮らしについて家族の理解を図っている。安全を優先するために施錠を望む家族に対しては、自由の大切さと安全確保について話し合っている。	0	見学時や入居時に御家族に説明して理解を得ている。				職員は鍵をかけることの弊害を十分理解しており、玄関等の施錠はしておらず、自由に出入りできるようになっている。
		С	利用者の自由な暮らしを支え、利用者や家族等に心理 的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくて もすむよう工夫している(外出の察知、外出傾向の把 握、近所の理解・協力の促進等)。		無断外出の傾向のある方の行動パタ―ンを把握して、鍵をかけなくても介護ができるように工夫している。				7

項目 No.	評価項目	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
(4)健康を維持	持するための支持								
		а	職員は、利用者一人ひとりの病歴や現病、留意事項等 について把握している。	0	個人別のカルテのフェイスシートに現病歴や既往症などを記入して病歴や現病を把握している。				anner menter
30 日々の健病状の把		b	職員は、利用者一人ひとりの身体状態の変化や異常のサインを早期に発見できるように注意しており、その変化やサインを記録に残している。	0	バイタルチェックを行い状態を把握し、普段の状態を知ることで、変化を早期に発見できるようにエ 夫している。				described to the second
		С	気になることがあれば看護職やかかりつけ医等にいつ でも気軽に相談できる関係を築き、重度化の防止や適 切な入院につなげる等の努力をしている。	0	看護職員や、母体の病院には24時間相談ができるようになっており、適切な受診や入院に繋げる ようにしている。				
		а	利用者一人ひとりのこれまでの受療状況を把握し、本 人・家族が希望する医療機関や医師に受診できるよう支 援している。	0	本人や家族が希望するいりょ機関に受診できるようにしている。	0			The state of the s
31 かかりつげ 受診支援	け医等の	b	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を 受けられるように支援している。	0	本人や家族の希望は大切にしている。基本的には母体の病院で医療を受けられるが、専門医の受診が必要な場合は、適切な医療が受けられるように支援している。				######################################
		С	通院の仕方や受診結果の報告、結果に関する情報の伝 達や共有のあり方等について、必要に応じて本人や家 族等の合意を得られる話し合いを行っている。	0	受診の結果で、家族、病院、事業所とで必要に応じて話し合いを行っている。また通院に必要な介護タクシー、寝台車などの予約など事業所が行っている。				Newsonian and the second secon
			入院の際、特にストレスや負担を軽減できる内容を含む 本人に関する情報提供を行っている。	0	入院時には本人の情報をできる限り提供している。				
32 入退院時連携、協信	fの医療機関との 働		安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院 できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めて いる。	0	定期的にお見舞いに行き、病院関係者と情報交換を行い早期退院に向けて努力している。				
			利用者の入院時、または入院した場合に備えて日頃から病院関係者との関係づくりを行っている。	0	日頃から、母体病院の医師や看護師、その他関係者との関係つくりを行っている。				
		а	介護職は、日常の関わりの中で得た情報や気づきを職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談している。 看護職の配置や訪問看護ステーション等との契約がない場合は、かかりつけ医や協力医療機関等に相談している。	0	職場内の看護職や協力医療機関に伝え相談している。				
33 看護職との	の連携、協働		看護職もしく訪問看護師、協力医療機関等に、24時間い つでも気軽に相談できる体制がある。	0	母体である病院とは内線でつながっており、24時間相談できる体制にある。				
		С	利用者の日頃の健康管理や状態変化に応じた支援が 適切にできるよう体制を整えている。また、それにより早 期発見・治療につなげている。		一日2回バイタルチェックを行い、日ごろの状態を把握しており、本人の状態変化に応じた支援ができるよう体制を整えている。				
		а	職員は、利用者が使用する薬の目的や副作用、用法や 用量について理解している。	Δ	個々に合わせた薬の容量や用法について理解できるよう努力している。				
		D	利用者一人ひとりが医師の指示どおりに服薬できるよう 支援し、飲み忘れや誤薬を防ぐ取り組みを行っている。	0	各利用者の薬袋を引き出しからとるとき、個別に用意する時服用介助をするときに名前・日付・いつ服用するかを確認して誤訳や飲み忘れを防ぐようにしている。				
34 服薬支援	<u>2</u>	С	服薬は本人の心身の安定につながっているのか、また、 副作用(周辺症状の誘発、表情や活動の抑制、食欲の 低下、便秘や下痢等)がないかの確認を日常的に行っ ている。	0	服用後の確認を行い、来利用者の行動や表情などの確認を行っている。				
		d	漫然と服薬支援を行うのではなく、本人の状態の経過や 変化などを記録し、家族や医師、看護職等に情報提供し ている。		服用により変化があった場合には、看護職に報告し城東提供をしている。				Annual and a second a second and a second and a second and a second and a second an

項目 No.	評価項目	小項日	内 容	自己評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
			重度化した場合や終末期のあり方について、入居時、または状態変化の段階ごとに本人・家族等と話し合いを行い、その意向を確認しながら方針を共有している。	0	入居時や重度化した場合はその都度家族に意思確認をし、必要な場合は医師、家族、職員で話し合いを行って方針を共有している。				
		b	重度化、終末期のあり方について、本人・家族等だけではなく、職員、かかりつけ医・協力医療機関等関係者で話し合い、方針を共有している。	Δ	その時により家族や医療機関と話し合いを行う。重度化終末期については1度だけではなく何度も確認しながら援助を行っている。	0		Δ	
25	重度化や終末期への支援	С	管理者は、終末期の対応について、その時々の職員の 思いや力量を把握し、現状ではどこまでの支援ができる かの見極めを行っている。		現在見取りは行っていないが、終末期の対応について職員の力量や支援の限界点を把握している。				7 事業所での看取りの要望は少なく実績も1件のみで、看取りの経験も少ないことから職員にも不安があることは否めない。利用者や家族の意思を確っ認しておくことが重要であり、関係者と方針を共有していけるよう日頃から
33	至反 化 个心不知 、	d	本人や家族等に事業所の「できること・できないこと」や 対応方針について十分な説明を行い、理解を得ている。	0	入所時の重要事項説明の時にあらかじめ説明するが、重度化した場合に再度説明と意思確認を 行っている。				が記されていませてめが、関係者とガゴを共有していかるよう口頭がら 話し合いの機会を持ち、終末期ケアの勉強会を実施するなど、今後看取り の要望があった際に対応できるよう取り組むことが望まれる。
		е	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、家族やかかりつけ医など医療関係者と連携を図りながらチームで支援していく体制を整えている。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	Δ	重度のなった本人を支えるために家族や医師、ケアマネ、看護職が連携を行い必要な支援をしている。				7
			家族等への心理的支援を行っている。(心情の理解、家 族間の事情の考慮、精神面での支え等)	0	本人の現状を説明するとともに職員も一緒に支えていくことを伝え、家族の心理的負担感の軽減 を図っている。				7
		а	職員は、感染症(ノロウイルス、インフルエンザ、白癬、 疥癬、肝炎、MRSA等)や具体的な予防策、早期発見、 早期対応策等について定期的に学んでいる。		毎年、職員が感染症の勉強会や研修に参加し具体的な対応策を学びより最新の感染予防方法を 学んでいる。				
		b	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、万が 一、感染症が発生した場合に速やかに手順にそった対 応ができるよう日頃から訓練を行うなどして体制を整え ている。	0	日頃から手洗いや消毒などの対策を行っている。感染症が発生した場合早期に対応ができるよう に体制を整えている。				7
36	感染症予防と対応	С	保健所や行政、医療機関、関連雑誌、インターネット等 を通じて感染症に対する予防や対策、地域の感染症発 生状況等の最新情報を入手し、取り入れている。		保健所より地域の感染症発生情報などを入手し、想起に対応できるようにしている。				7
			地域の感染症発生状況の情報収集に努め、感染症の 流行に随時対応している。	0	病院との連携を図り対応を行っている。				7 
			職員は手洗いやうがいなど徹底して行っており、利用者 や来訪者等についても清潔が保持できるよう支援してい る。	0	職員の手洗いうがいを徹底し、利用者や来訪者も清潔が保持できるよう協力をお願いしている。				7

項目 No. 評価項目	小項日	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
Ⅱ家族との支え合い								
		職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒 哀楽をともにし、一緒に本人を支えていく関係を築いて いる。	0	本人にとって家族が来ることで安心できるため、家族とともに利用者を支えることができるよう関係 つくりを行っている。				
	b	家族が気軽に訪れ、居心地よく過ごせるような雰囲気づくりや対応を行っている。(来やすい雰囲気、関係再構築の支援、湯茶の自由利用、居室への宿泊のしやすさ等)	0	気楽に訪問で来て本人とお話ができるような雰囲気つくりをしている。				
	С	家族がホームでの活動に参加できるように、場面や機 会を作っている。(食事づくり、散歩、外出、行事等)		外出や行事への参加を呼びかけ、ご家族がホームの活動や行事に参加できるように支援している。	0		0	
本人をともに支え合う	d	来訪する機会が少ない家族や疎遠になってしまっている 家族も含め、家族の来訪時や定期的な報告などにより、 利用者の暮らしぶりや日常の様子を具体的に伝えてい る。(「たより」の発行・送付、メール、行事等の録画、写 真の送付等)	0	面会時には近況を説明するようにししている。疎遠になっているご家族には電話で近況報告を行い日常の様子を伝えている。また、請求書送付時にグループホーム新聞を一緒に送付することもある。	0			お花見会や文化祭の案内を送付し、家族にも参加してもらっている。特に お花見会には参加者が多く、桜を見た後には事業所で食事会を実施してい
家族との関係づくりと支援	е	事業所側の一方的な情報提供ではなく、家族が知りたいことや不安に感じていること等の具体的内容を把握して報告を行っている。	0	家族の訴えを傾聴し、ご家族の不安が何か把握するようにしている。				る。来訪する機会が少ない家族や疎遠になっている家族も含め、来訪時に は近況を説明しているほか、事業所発行の新聞を請求書と一緒に送付した り、何かあれば電話で報告し相談している。行事のお知らせや利用料の変
37	T	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係を築いていけるように支援している。(認知症への理解、本人への理解、適切な接し方・対応等についての説明や働きかけ、関係の再構築への支援等)		家族と本人の関係の理解に努めている。より容易関係になることができるよう努力しているが、関係の再構築に至るのはむつかしい場合もある。				更など、事業所の運営上の事柄については、その都度報告している 員の異動に関しては来訪した家族にしか伝えていないため、今後は の変更や交代等について報告するなど、家族とのより良好な関係か よう努めて欲しい。家族の来訪時には職員から声をかけるなど、話
	g	事業所の運営上の事柄や出来事について都度報告し、 理解や協力を得るようにしている。(行事、設備改修、機 器の導入、職員の異動・退職等)		行事のお知らせや、利用料の変更などその都度お知らせを行っているが、職員の移動については 来訪したご家族にのみ伝えている。	×		Δ	い雰囲気づくりに努めており、気軽に相談に応じている。
	h	家族同士の交流が図られるように、様々な機会を提供している。(家族会、行事、旅行等への働きかけ)	0	年2回お花見と文化祭の時に家族会を提案している。				<i>t</i>
	i	利用者一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に 説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し 合っている。	0	入居時や入居間もない方はその方の考えられるリスクについての説明を行っている。				<b>7</b>
		家族が、気がかりなことや、意見、希望を職員に気軽に 伝えたり相談したりできるように、来訪時の声かけや定 期的な連絡等を積極的に行っている。		面会時には職員から声掛けを行い、相談できるような雰囲気つくりをしている。			0	•
	а	契約の締結、解約、内容の変更等の際は、具体的な説 明を行い、理解、納得を得ている。	0	個々の家族に対して説明を行い理解をしてもらっている。				annurane ann
38 契約に関する説明と納得	b	退居については、契約に基づくとともにその決定過程を明確にし、利用者や家族等に具体的な説明を行った上で、納得のいく退居先に移れるように支援している。退居事例がない場合は、その体制がある。	0	退去理由など具体的な説明を行い、退去先にスムーズに移ることができるように支援している。				-autoratura nera nera nera nera nera nera nera ne
	'	契約時及び料金改定時には、料金の内訳を文書で示し、料金の設定理由を具体的に説明し、同意を得ている。(食費、光熱水費、その他の実費、敷金設定の場合の償却、返済方法等)	0	契約書重要事項説明書などの文書を提示して説明し同意を得ている。				Turnerannen erren

項目 No.	評価項目	小項日	内 容	自己評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと			
Ⅲ.地	域との支え合い											
		а	地域の人に対して、事業所の設立段階から機会をつくり、事業所の目的や役割などを説明し、理解を図っている。	0	自治会に出向き説明を行い理解を得るようにしている。		0					
			事業所は、孤立することなく、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、地域の人たちに対して日頃から関係を深める働きかけを行っている。(日常的なあいさつ、町内会・自治会への参加、地域の活動や行事への参加等)	0	挨拶をしたり行事には参加できるように張り紙をしたり、地域とのつながりを持つようにしている。		×	0				
	地域とのつきあいや	С	利用者を見守ったり、支援してくれる地域の人たちが増 えている。	Δ	新しく転居してきた方もいるが支援してくれる方が増えたとは言えない。				7			
	ネットワークづくり ※文言の説明 地域:事業所が所在する	d	地域の人が気軽に立ち寄ったり遊びに来たりしている。	Δ	1回デイサービス部分には来訪者も多いが2階3階の建物の構造上、来訪するのは職員や利用者の知り合いのみになっている。				える。 法人で町内会に入会しており、母体病院を経由して回覧板やお知らせが届			
20	市町の日常生活圏域、自治会エリア	е	隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらうなど、日常的なおつきあいをしている。	Δ	挨拶などは行っており、散歩の途中で困ったとき人助けていただくことも多いが、ホームに来訪される方は少ない。				く。地域住民の一員として自治会費を支払っている利用者もいる。近くの神 社への散歩道での挨拶や落ち葉拾い等、地域貢献や地域とのつながりづ くりに努めている。			
		f	近隣の住民やボランティア等が、利用者の生活の拡がりや充実を図ることを支援してくれるよう働きかけを行っている。(日常的な活動の支援、遠出、行事等の支援)		夏祭り・敬老会・観月会・文化祭などは近隣の方たちにも声掛けを行っている。その時には地域の 母連亭あさんに協力してもらい楽しい会にしている。							
		g	利用者一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らし を楽しむことができるよう支援している。		地域資源の把握はしているが参加できる資源が少ない。利用者が安全に落ち着いて暮らすことができるように地域資源に協力を求めて行きたい。				7			
			地域の人たちや周辺地域の諸施設からも協力を得ることができるよう、日頃から理解を拡げる働きかけや関係を深める取り組みを行っている(公民館、商店・スーパー・コンビニ、飲食店、理美容店、福祉施設、交番、消防、文化・教育施設等)。	0	近隣のコンビニで協力を得ることができるように関係を深めている。							
			運営推進会議には、毎回利用者や家族、地域の人等の 参加がある。	Δ	運営推進会議に参加していただける方が、徐々に減少しており、今年よりご家族や地域の方に声をかけているがまだあまり成果が上がっていない。	×		×				
			運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価へ の取り組み状況(自己評価・外部評価の内容、目標達成 計画の内容と取り組み状況等)について報告している。	0	外部評価での報告や取り組み内容については直近の運営推進会議で報告している。			0	運営推進会議の参加者が徐々に減少し、家族の参加がほとんどないた め、食事の提供を検討し案内を始めたところであり、今後はより参加者が増			
40	運営推進会議を 活かした取組み	С	運営推進会議では、事業所からの一方的な報告に終わらず、会議で出された意見や提案等を日々の取り組みやサービス向上に活かし、その状況や結果等について報告している。		会議中に出た意見は議事録に残しその状態や結果を報告するようにしている。		×		えるような取組みの工夫を期待したい。会議では利用者やサービスの実際のほか、評価への取組み状況について報告しているが、報告にとどまっているのが現状であり、今後は会議で出た意見や提案等についても協議を			
		d	d	d	d t	テーマに合わせて参加メンバーを増やしたり、メンバー が出席しやすい日程や時間帯について配慮・工夫をして いる。	Δ	運営推進会にのメンバーさんの集まりやすい第4金曜日に行っている。		0		行い運営に活かせるよう努めて欲しい。
		е	運営推進会議の議事録を公表している。	0	各階エレベーター前に会議録を設置していつでも見ることができるようにしている。							

変見	県グループホームはとり							
項E No.	評価項目	小 項 内 容 目	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域 評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
IV.	より良い支援を行うための	運営体制						
41	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者、管理者、職員は、その理念について共通認識を持ち、日々の実践が理念に基づいたものになるよう日常的に取り組んでいる。	0	各階に理念を掲げ日々確認しながら業務にあたるようにしている。				
		b 利用者、家族、地域の人たちにも、理念をわかりやすく 伝えている。	0	入居時には特にどのような理念を持ち利用者さんに対して接していくかを伝えるようにしている。	0	0		***************************************
	職員を育てる取り組み ※文言の説明	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力 a 量を把握し、計画的に法人内外の研修を受けられるよう 取り組んでいる。	0	それそれに合った研修を受けることができるよう研修計画を作成している。				
	代表者:基本的には運営 している法人の 代表者であり、理事長や 代表取締役が該当する	管理者は、OJT(職場での実務を通して行う教育・訓練・ b 学習)を計画的に行い、職員が働きながらスキルアップ できるよう取り組んでいる。	0	職員それぞれに合わせて計画的にスキルアップができるよう教育を行っている。				
42	が、法人の規模によって、 理事長や代表取締役をそ の法人の地域密着型サー ビス部門の代表者として	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況 を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が 向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努め ている。		全ての条件を満たすことは困難ではあるが、一定の環境や条件の整備を整えられるよう努めている。				代表者は、職員のストレスチェックを行うほか、職員からの休暇の希望にも 応じるよう努めるなど、職員のストレス軽減に取り組んでいる。
	扱うのは合理的ではない と判断される場合、当該部 門の責任者などを代表者 として差し支えない。した がって、指定申請書に記 載する代表者と異なること はありうる。	代表者は管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互研修などの活動を d 通して職員の意識を向上させていく取り組みをしている。 (事業者団体や都道府県単位、市町単位の連絡会など への加入・参加)	0	愛媛県地域密着型サービス協会や今治市グループホーム交流会に加入して交流が図れるように している。				
		e 代表者は、管理者や職員のストレスを軽減するための 工夫や環境づくりに取り組んでいる。	0	ストレスチェックを行い個別に職員と面談を行っている。	0	0	0	
		代表者及び全ての職員は、高齢者虐待防止法について 学び、虐待や不適切なケアに当たるのは具体的にどの ような行為なのかを理解している。	0	月に一回職員会議の後に高齢者虐待についての勉強会を行っている。どの様な行為が虐待にあたるのかを職員が理解できるよう努めている。				
40	<b>点往叶山の御</b> 序	b 管理者は、職員とともに日々のケアについて振り返ったり話し合ったりする機会や場をつくっている。	0	昼食や休憩を一緒にとり話し合ったりする時間を持つようにしている。				を を を を を 見した場合の対応方法や手順等について理解している。 職員は不適切
43	虐待防止の徹底	代表者及び全ての職員は、虐待や不適切なケアが見過 c ごされることがないよう注意を払い、これらの行為を発見 した場合の対応方法や手順について知っている。		職員同士お互いに気を付け注意し合っている。また、発見した場合の方法や手順は勉強会で勉強 している。				なケアが疑われる時は、互いに注意し合ったり、職員の交替を管理者に申 し出て、担当を交替するなど配慮した対応にも努めている。
		代表者、管理者は職員の疲労やストレスが利用者への d ケアに影響していないか日常的に注意を払い、点検して いる。	0	職員の心身の健康状態に気を付け日常的に注意している。				
		代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対 a 象となる具体的な行為」や「緊急やむを得ない場合」とは 何かについて正しく理解している。		他の業種から入社してきた職員などは正しく理解しているとはいえない場合もあり、勉強会を重ねることが重要である。				
44	身体拘束をしない ケアの取り組み	どのようなことが身体拘束に当たるのか、利用者や現場 b の状況に照らし合わせて点検し、話し合う機会をつくっている。	Δ	どのようなことが身体拘束であるか、毎月の勉強会で学習中である。				***************************************
		家族等から拘束や施錠の要望があっても、その弊害に ついて説明し、事業所が身体拘束を行わないケアの取り組みや工夫の具体的内容を示し、話し合いを重ねながら理解を図っている。		御家族からの施錠の要望があっても行わないことを説明しており、理解を得られるように話し合い を行っている。				Andrew was now a server

頁目 No. 評価項目	小項目	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域評価	外部評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
	а	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見 制度について学び、それぞれの制度の違いや利点など を含め理解している。	0	毎年権利擁護や成年後見制度についての研修に参加して、利用者の成年後見に繋げている。すべての職員が詳しく理解しているわけではなく今後学習することが重要である。				Anne manus and manus
を 権利擁護に関する 制度の活用	b	利用者や家族の現状を踏まえて、それぞれの制度の違いや利点なども含め、パンフレット等で情報提供したり、 相談にのる等の支援を行っている。	0	管理者は本人と家族の現状を踏まえて、必要な場合は成年後見制度や権利擁護事業利用に繋げている。必要と思われすご家族には相談窓口をお教えしている。				Tarrencententententententententententententente
	С	支援が必要な利用者が制度を利用できるよう、地域包括支援センターや専門機関(社会福祉協議会、後見センター、司法書士等)との連携体制を築いている。	0	現在専門機関との連携を行い、新しく成年後見制度の利用に繋げたケースがある。				7
急変や事故発生時の 6 備え・事故防止の 取り組み	а	怪我、骨折、発作、のど詰まり、意識不明等利用者の急変や事故発生時に備えて対応マニュアルを作成し、周知している。	0	マニュアルを作成しており、職員が何時でも確認できるように各階に置いている。				de service de la constitución de
	b	全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に 行い、実践力を身に付けている。	0	全ての職員が実践できるように応急手当職位対応の訓練を定期的に行っている。				T
	С	事故が発生した場合の事故報告書はもとより、事故の 一歩手前の事例についてもヒヤリハットにまとめ、職員 間で検討するなど再発防止に努めている。	0	ヒヤリハットや事故報告書を作成している。職員間で共有し再発の防止に努めている。				7
	d	利用者一人ひとりの状態から考えられるリスクや危険に ついて検討し、事故防止に取り組んでいる。	0	利用者さんの個々のリスクを検討し、個別の取り組みを行っている。				7 
苦情への迅速な対応と 改善の取り組み	а	苦情対応のマニュアルを作成し、職員はそれを理解し、 適宜対応方法について検討している。	0	マニュアルを作成している、苦情対応は職員を決めて苦情の相談を行っている。				
	b	利用者や家族、地域等から苦情が寄せられた場合には、速やかに手順に沿って対応している。また、必要と思われる場合には、市町にも相談・報告等している。	0	苦情があった場合には速やかに対応するようにしている。				7
		苦情に対しての対策案を検討して速やかに回答するとと もに、サービス改善の経過や結果を伝え、納得を得なが ら前向きな話し合いと関係づくりを行っている。		答えや対応策を速やかに検討して回答し、納得を得ながら前向きに話し合いを行っている。				<b>7</b>
8 運営に関する意見の反映	а	利用者が意見や要望、苦情を伝えられる機会をつくっている。(法人・事業所の相談窓口、運営推進会議、個別に訊く機会等)	0	苦情相談窓口を重要事項説明書に明記し相談できるようにしている。日々利用者の話に耳を傾け 苦情が伝えられるように努力している。			0	
	b	家族等が意見や要望、苦情を伝えられる機会をつくっている。(法人・事業所の相談窓口、運営推進会議、家族会、個別に訊く機会等)		苦情相談窓口を重要事項説明書に明記し相談できるようにしている。	0		©	_ - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
	С	契約当初だけではなく、利用者・家族等が苦情や相談が できる公的な窓口の情報提供を適宜行っている。	0	各階にご意見箱を設置していつでも苦情が受け付けている。				7 利用者の日々の芸品に耳を傾け、思見や安皇を聞くように劣めている。 族からは直接電話で意見や要望を聞くことが多い。管理者は職員と個別 面接を行い意見や提案を把握し、利用者本位の支援につながるよう検討 っている。
	d	代表者は、自ら現場に足を運ぶなどして職員の意見や 要望・提案等を直接聞く機会をつくっている。	0	朝礼時や昼休憩・おやつ休憩の時間に直接話を聞く機会を持っている。				7 - 0 0
		管理者は、職員一人ひとりの意見や提案等を聴く機会を 持ち、ともに利用者本位の支援をしていくための運営に ついて検討している。		個別に面接を行い話を聞く機会を作っている。特に問題を抱えた場合には頻回に面接を行い問題解決に協力している。			0	

項目 No. 評価項目	小項	内 容	自己 評価	判断した理由・根拠	家族 評価	地域評価	外部 評価	実施状況の確認及び次のステップに向けて期待したいこと
49 サービス評価の取り組み	а	代表者、管理者、職員は、サービス評価の意義や目的 を理解し、年1回以上全員で自己評価に取り組んでい る。	Δ	年1回サービス評価を実施している。在籍しているすべての職員が理解できているわけではなく対応にばらつきがみられる。				アサービス評価の取組みについて、運営推進会議で報告はしているが、ほんんどの家族が参加していないため家族への報告ができていない。運営推進会議の記録は玄関に置いているが、見ている家族はいないのが現状である。家族に会議録を送付するなど、事業所の運営に関心を持ってもらい、今後の取組みのモニターをしてもらうなどの検討に努めて欲しい。
		評価を通して事業所の現状や課題を明らかにするととも に、意識統一や学習の機会として活かしている。	Δ	評価をとおして課題を明らかにして学習の機会としている。				
	С	評価(自己・外部・家族・地域)の結果を踏まえて実現可能な目標達成計画を作成し、その達成に向けて事業所全体で取り組んでいる。		実現可能と思われる目標を掲げて計画したが、継続がむつかしく今後は継続できるような計画を 作りたい。				
	d	評価結果と目標達成計画を市町、地域包括支援センター、運営推進会議メンバー、家族等に報告し、今後の取り組みのモニターをしてもらっている。	Δ	運営推進会議にて報告している。モニターは行ってもらうまでになっていない。	0	Δ	×	
	е	事業所内や運営推進会議等にて、目標達成計画に掲げ た取り組みの成果を確認している。	0	目標達成がどこまでできているかの確認を行っている。				
50 災害への備え	а	様々な災害の発生を想定した具体的な対応マニュアル を作成し、周知している。(火災、地震、津波、風水害、 原子力災害等)	0	マニュアルを作成して職員が確認できるようにしている。				7近くに消防署があるが、地域との合同訓練などはできていない現状である。物資の備蓄は3日分程度あり、家族の受入れも可能で、避難方法も定しているが、家族に浸透しているか不明であるため、協力体制を含める。 記が必要と思われる。今後は家族や地域住民等関係者にも協力を仰ぎがら、地域との合同訓練の開催を検討することが望まれる。
	b	作成したマニュアルに基づき、利用者が、安全かつ確実 に避難できるよう、さまざまな時間帯を想定した訓練を 計画して行っている。	0	年2回計画的に訓練を行っている。				
	_ a	消火設備や避難経路、保管している非常用食料・備品・ 物品類の点検等を定期的に行っている。	0	定期的に行っている。				
		地域住民や消防署、近隣の他事業所等と日頃から連携を図り、合同の訓練や話し合う機会をつくるなど協力・支援体制を確保している。		地域住民や消防署との連携を行っているが共同訓練などはできていない。	×	0	×	
	f	災害時を想定した地域のネットワークづくりに参加したり、共同訓練を行うなど、地域の災害対策に取り組んでいる。(県・市町、自治会、消防、警察、医療機関、福祉施設、他事業所等)	Δ	洪水などの避難計画を作成し市役所に提出、地域のネットワークに参加できるように取り組んでいる。				
51 地域のケア拠点としての 機能		事業所は、日々積み上げている認知症ケアの実践力を活かして地域に向けて情報発信したり、啓発活動等に取り組んでいる。(広報活動、介護教室等の開催、認知症サポーター養成研修や地域の研修・集まり等での講師や実践報告等)	0	気演習などの講師や実践報告など啓発活動に取り組んでいる。				
		地域の高齢者や認知症の人、その家族等への相談支 援を行っている。	0	母体病院、併設の居宅介護支援事業所と協力しながら相談支援を行っている。		Δ	Δ	ー 相談実績としては事業所見学が多い現状であり、地域からの相談ニーズに 」対応できているとは言い難いため、事業所のPRにも積極的に努めるなど
	d e	地域の人たちが集う場所として事業所を解放、活用して ている。 いる。(サロン・カフェ・イベント等交流の場、趣味活動の 〇 場、地域の集まりの場等)	グループホームの研修室を地域の方の趣味活動(今治市青年の家のお琴教室)の場として開放している。				の取組みに期待したい。管理者は介護支援専門員連絡協議会のメンバーで、看護学校での認知症講義を行うことや、市や地域包括支援センター等 関係機関と連携しながら、ボランティアの受入れやお琴教室の場所提供な	
		介護人材やボランティアの養成など地域の人材育成や 研修事業等の実習の受け入れに協力している。	0	介護学生等実習の受け入れに協力している。				どの地域活動等に取り組んでいる。
		市町や地域包括支援センター、他の事業所、医療・福祉・教育等各関係機関との連携を密にし、地域活動を協働しながら行っている。(地域イベント、地域啓発、ボランティア活動等)		市町村・地域包括支援センター・他の事業所や医療機関・教育機関と連携しながら地域活動に参加している。			0	